

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
4 障害者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供	<p>現在地区部会で行っている障がい者施設への慰問訪問、施設行事への参加等の中で、障がい者(児)のニーズを把握するとともに、集う場の必要性、集う場の確保の可否等を検討する。 必要性がある場合、場所を確保して、集う場の開設につなげたい。</p>	<p>7/11 打合せ(13名参加) 施設への訪問、見学、施設行事への参加を計画。 委員会後に施設に対応等確認の結果、コロナ禍であり、ご遠慮くださいとの事であり実施を見送ることに決定。</p> <p>10/11 打合せ(11名参加) 今年度の慰問品贈呈先、慰問品、訪問日について検討。</p> <p>2/7 5施設への慰問品贈呈を行う。 コロナ感染予防を考慮し少人数で訪問。</p> <p>・障がい者(児)「集う場の開設」に向けての検討については、各施設との考えや希望を検討した結果、次年度以降の課題とする。</p>	<p>・ボランティア活動に関する講座、学習会の開催</p> <p>・障がい者、障がい者施設等に関する講座、学習会の開催</p> <p>・障がい者施設の見学、慰問の実施</p> <p>・障がい者施設の作業手伝い</p> <p>・障がい者施設の行事手伝い及び参加</p> <p>・障がい者施設への慰問品の贈呈</p>	<p>・今年度は誉田地区部会から平山町、鎌取町、辺田町が分離したことに伴い、組織の見直しを行い、ボランティア委員会と障がい者福祉委員会が併合して障がい者福祉委員会となった。 誉田地区部会エリア外の施設の扱いについて関係個所との調整が必要。</p> <p>・障がい者(児)が「集う場の開設」については緑区地域福祉計画の計画見直しの様子を見て検討する。</p>
26 見守り活動の推進	<p>令和2年度末現在、当地区部会地域内で見守り活動を実施しているのは7町内自治会であるが、これを毎年最低1か所増やしていく。</p>	<p>・見守り活動推進委員会を年5回開催(内4回は書面開催)し、34町内自治会に見守り活動実施調査を行い、調査結果について協議をした。</p> <p>・今年度、新しく活動を始める町内自治会はなかった。</p>	<p>今年度は誉田地区部会から平山地区部会が分離独立したことにより、誉田地区部会地域内で見守り活動を実施しているのは3町内自治会となった。 見守り活動未実施の23町内自治会へ活動の必要性を呼びかけ、新たな地域での活動開始を推進していく。</p>	<p>誉田地区部会の組織見直しにより見守り活動推進委員会と高齢者福祉委員会が併合して高齢者福祉委員会となった。 見守り活動推進委員会の事業は高齢者福祉委員会が継承する。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
31 ボランティアの確保	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会で物づくり（かかし）を始め、市政100周年に参加出品。誉田中学校・誉田小学校・誉田東小学校地区地域教育協議会委員を主体に町内自治会やPTA等にも声掛けで募っているが（ポスターやチラシを配っている）、2020年ごろから本格的にコロナ感染拡大抑止が始まり、思うように協力者が集まらない。 	<p>青少年育成委員会を主体に子ども会を巻き込み「かかしアートまつり」と題して6/6説明会、7/11制作して、千葉市制100周年事業に参加、緑区役所や学校・自治会館・高速道路出口等に飾り付け、9月中旬以降に高田や平川の田んぼに移す。18体を作り、約80名参加。市制100周年記念協議会で市長・市会議員の前で発表する。</p> <p>また、本年度より表彰制度を取り入れ各学校長、誉田1～3丁目会長が審査員。</p>	<p>誉田中学校地区青少年育成委員会として町内自治会や一般にも参加呼びかけ7/18に誉田小体育館で制作、13体市原市からも参加有り。次年度は千葉の大学からも参加希望有り。</p> <p>「かかしアートまつり」以外有志でキャンプ（7/24-25、30名で青少年の家へ）</p>	<p>「かかし作り」は例年続けて行きたいが、資金不足で予算組みが大変である中学校の美術部が参加してくれており、大学も打診有り。どう取り組むか。</p>
18 防災訓練の充実 21 身近な防犯、安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 毎年9月1日は防災の日として九都県市の防災訓練。千葉市会場は蘇我スポーツ公園で開催されるが、ここ2年中止。また、誉田地区町内自治会連絡協議会も4会場で行っているが2年中止。 防犯パトロールは警察署とタイアップして実施。 学校夏季・冬季に先生と青少年育成でパトロール。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も計画されたが誉田地区会場では会議と備品の確認等のみになる。 3年度も年間予定（車2台）をたてるもコロナ問題のため、3名乗車を2名にして、無理せず予定の半数（160回程）を実施。特に小学校前では車を止めて声掛け。要所にはボランティアが立つ。 青少年育成委員と先生方で補導含めパトロール 	<ul style="list-style-type: none"> 4年度は千葉市会場に招待され参加するが、避難者は緑区より要請で10名が避難者として参加。 本年度も3月までは多少間引きでパトロールを実施したが、4月より参加できる町内会に2名出してもらい、ほぼ実施できた。また、誉田中青少年の看板を新規に20本作る。 7/1に夏点検として70様程で参加（鎌取⇄平川） 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年実施される防災訓練なので各地区に振り分け予定表を制作して欲しい。各学校避難所も訓練を行政も参加して計画通り行いたい。誉田地区は4会場の代表者を決め訓練実施。 パトロールは毎日実施するには人数不足、防犯パトロール隊は町内自治会からの補助金だけで有り、参加者にお茶でもだしたい。立看板が見えにくい箇所有り、町会員が直す。 夏季と冬季に各1回では少々少ないかも。
26 見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動 町内自治会が地域における見守り活動を主体的に行っている。社会福祉協議会誉田部会として誉田と平山地区に4年より分離。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会誉田部会として令和3年まで活動しており誉田一丁目は月1回。誉田二丁目はできたばかりなので年4回を計画。コスモ誉田は年2回のアンケート、見守りは年6回（一部三丁目3戸とアパート）。 	<ul style="list-style-type: none"> コスモ誉田はマンションの為見守りが難しい。この為、社協補助金ももらわず電気メーターと新聞のみ。 三丁目の一戸は雨戸が開かず訪問した事も。常時3人、一丁目はユニフォームも作り、非接触型体温計も購入。見守り協力者が外からの見守りだが希望者には声掛け、希望者に回覧で募集。 誉田二丁目は誉田あんしんケアセンター職員との会合外部からのさりげない見守り。ゴミ出し希望者が多い。 誉田三丁目・高田町・平川町等の高齢者が多い。町会には是非見守り隊の編成声掛け。 	<ul style="list-style-type: none"> 誉田地区町内会連絡協議会は現在26の自治会があるが、3自治会は新しくできた団地で、高齢者がおられないのですぐには難しい。古い高齢者の多い町内自治会には年内に最低2ヶ所は増やしたい。緑区や社会福祉協議会の補助金の申請方法等も勉強してもらおう。

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所行動要支援者名簿作成について 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を見守るだけでも大変なこと、自治会名簿すら拒否される。無理に頼むと脱会すると言われ引き下がる。民生委員の力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会名簿を求めても生年月日も聞けない 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区支え合いのまちや、あんしんケアセンターの仕事を一般の人にどう理解してもらうかが問題。
<p>1 情報の収集と共有化</p>	<p>千葉市や社会福祉協議会、あんしんケアセンターで発行されている資料を連絡協議会でPR（社会福祉を学ぶ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちばし地域づくり大学校 (募集要項についての説明) ・ポケットデーターCHIBA2022 		<p>誉田地区町内自治連絡協議会で手に入る資料がすべての人に渡らない。回覧で廻しても中身まで見る人が少ない。</p>	<p>誉田地区町内自治会連絡協議会の理事会や正副会長会議でPRや案内して受講を進める。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供	夏休みラジオ体操の実施 夏休みの始めと終わりの数日間、民生委員の主催でラジオ体操を実施する。	中止。	誉田団地のみ実施。 7月19日、20日、21日 8月24日、25日、26日（予定） 子どもだけでなく大人も参加。	開催場所により参加人数の差が大きい。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	ふれあいカフェの開催 月1回。 誉田団地自治会館。	中止。	8月現在、中止。	丸2年半開催されておらず、コロナの感染状況が改善されたら、運営スタッフと協力しながら実施したい。
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	子育てサロンの開催 子育て中の親との情報交換を図る。 月1回。 誉田町1丁目公会堂。 誉田町2丁目第一自治会館。	11月2日、12月9日のみ実施。	実施 5/10、6/7、7/5 中止 8/9 予定 9/6、10/4、11/8、12/6、 1/10、2/7、3/7	子育て中の親への声かけ。 参加者を増やしていくこと。
6 地域と学校との交流	誉田中「地域ふれあいタイム」への参加 JINKENの作成・寄贈 JINKEN（犬のぬいぐるみ）を作成して、誉田小、誉田東小の卒業生に送る。	誉田中「地域ふれあいタイム」 10月。印鑑作り。 1～2月、JINKENぬいぐるみ作成。 3月、誉田小、誉田東小に届ける。	誉田中「地域ふれあいタイム」 10月15日。印鑑作り。 JINKENぬいぐるみ作成・寄贈は、 令和4年度も実施。	JINKENぬいぐるみ 令和4年度から実施主体が青少年育成委員会（福祉部）となった。地域の活動として継続的に実施していきたい。
26 見守り活動の推進	登下校時の見守り	登校時の児童の見守り活動を実施した。 誉田団地、誉田1丁目、 おゆみ野6丁目	登校時の児童の見守り活動を実施している。	地域住民、保護者の参加がほしい。
28 地域の課題解決に向けた連携	誉田あんしんネットワーク会議への参加 緑区（誉田圏域）多職種連携会議への参加 地域の課題解決に向け、上記会議に参加し、関係機関と情報を共有し、意見交換をしながら連携を図る。	誉田あんしんネットワーク会議 4/20、6/11、12/9 実施 10月 書面開催 2/10 中止 緑区（誉田圏域）多職種連携会議 3/4 オンライン開催	誉田あんしんネットワーク会議 4/19 書面開催 6/17 緑いきいきプラザ 8月 書面開催 10月、12月、2月の第3金曜日開催予定。	今後も誉田あんしんネットワーク会議や緑区（誉田圏域）多職種連携会議に参加し、各機関と情報を共有し、意見交換をしながら連携していきたい。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	<p>施設での食事会開催の協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協と連携し、高齢者施設に地域住民を招いて食事会を開催する「わくわく食事会」の実施に協力する。 <p>ふれあい食事サービス、いきいきサロンへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誉田地区部会のふれあい食事サービス、いきいきサロンへの協力を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動の制限・自粛により「わくわく食事会」は取り組みなし ・地区部会のふれあい食事サービスは休止 ・サロンの活動は登録サロン数10の内、6サロンで新型コロナウイルス感染拡大防止措置を行い、年間計35回開催。感染拡大を考慮し、中止が多く発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規サロンの開設検討 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながらサロンの開催をする。 ・ふれあい食事サービスは5月より再開。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度はコロナ禍で昨年につき、いろいろな行事が中止・休止となり十分な活動が出来なかった。
26 見守り活動の推進	<p>独居高齢者の見守り強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の見守り活動を継続するとともに、地域ケア会議を通じて、支援を相談・共有できる仕組みを作る。 ・また、社協誉田地区部会の見守り活動推進委員会と連携し、見守り活動の立ち上げを町内自治会に働きかけ、見守りの体制づくりに協力を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別訪問を自粛し、活動を制限せざるを得ない状況となり、十分な見守り活動が出来なかった。 (高齢者実態調査も中止)。 ・見守り体制づくりについては、新たな活動の立ち上げは実現しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動については、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら実施していきたい。 (令和4年度は高齢者実態調査実施) ・今年度は社協誉田地区部会の見守り活動推進委員会が高齢者福祉委員会に併合したことに伴い、高齢者福祉委員会と連携し、見守りの体制づくりに協力を行う。 	
28 地域の課題解決に向けた連携	<p>地域ケア会議への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議（誉田あんしんネットワーク会議）に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誉田あんしんネットワーク会議は、会議実施3回、書面開催1回、中止2回であった。 		

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
31 ボランティアの確保	1 ボランティアの育成の一環として、認知症の講座を行う。	ア 認知症サポーター養成講座の開催 ・ 7月10日 誉田町2丁目第1自治会館 507地区民生委員 11名 ・ 1月8日 誉田町1丁目公会堂 506地区民生委員 5名	ジュニア認知症サポーター養成講座 ・ 10月26日 土気中学校 (50人) ・ 12月 6日 誉田中学校 (196人) ・ 11月24日 誉田2丁目見守り隊 (未定)	新型コロナウイルスの感染の影響で、ボランティア活動の自粛や活動内容を変更せざるをえなくなり、目的や意義が見いだせなくなっている方も多いため、コロナ禍でも意欲を引き出し、地域に密着した魅力的な活動の場所づくりや情報提供が必要である。
		イ 認知症サポーター・ステップアップ講座の開催 ・ 10月11日 一般受講者 9名	認知症サポーター・ステップアップ講座 ・ 10月7日 (緑保健福祉センター) ・ 11月18日 (中央区 きぼーる) ・ 11月30日 (花見川保健福祉センター)	
	2 ボランティアの活動の場作りを行う。	ウ 認知症カフェの立ち上げの支援 (R4.1月～) ・ 認知症ステップアップ講座修了者の参加 2名 エ いきいき体操の立ち上げ準備 ・ 場所：ふくろうカフェ (緑区誉田町2丁目) ・ 千葉県緑区健康課と調整を行う (R4.4より、毎週水曜日 13:00 に開催)	「きんようカフェ」の開催支援 ・ 毎月第3金曜日 (R4.5～) ・ 開催の周知や内容の相談 ・ スタッフとの意見交換や情報の共有など	
	3 ボランティア活動の啓発を行う。	オ 休止している「オレンジカフェ」のボランティア (10名) に、アンケートを実施 (12月) し、手紙やチラシの送付 (9月、3月) を行った。 カ ほんだ貯筋倶楽部の参加者 (21名) に千葉県介護支援ボランティア登録者募集のチラシを配布した。 (4月)	・ 休止している「オレンジカフェ」のボランティアに手紙や認知症関係のチラシを送付する ・ 集いの場にボランティア募集等のチラシを配布する	

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化 (重点取組項目)	広報紙「椎名だより」を発行し、地域の情報を提供する。	「椎名だより」26、27、28号を発行した。 配布先：1,210世帯、椎名小、公民館	「椎名だより」29、30号を発行予定。 配布先：1,210世帯、椎名小、公民館	情報提供を通じて、地域活動への住民の参加を促進する必要がある。
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供 (重点取組項目)	学校行事(学習支援や伝承行事等)に地域住民が協力する。	・漢字指導 ・羯鼓舞 ・しいのみ祭で伝承行事活動 ・食育体験(5年生対象。田植え・稲刈り、体験発表)	・漢字指導 ・羯鼓舞 ・しいのみ祭で伝承行事活動 ・食育体験(5年生対象。田植え・稲刈り、体験発表)	ボランティア活動への参加意識は十分ではない。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組項目)	高齢者の集いの場として、「いきいきサロン」や「ふれあい食事会」を開催する。	いきいきサロン、ふれあい食事会 コロナ禍感染拡大防止のため中止	いきいきサロン、ふれあい食事会 コロナ禍感染拡大防止のため中止	事業継続のため、新たな運営スタッフ・指導者の育成
4 障害者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組項目)	椎名小学校の特別支援学級を支援する。	ヒバリ学級の活動支援 コロナ禍感染拡大防止のため中止	ヒバリ学級の活動支援 コロナ禍感染拡大防止のため中止	社協の協力体制の強化と継続
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	未実施	子育ての集まり無し	子育ての会無し	今後の課題
6 地域と学校との交流 (重点取組項目)	椎名小学校の4年生を対象に、高齢者や障害者の理解促進を図り、地域での助け合いの心を育むため、地区部会役員が出前授業を実施する。	椎名小学校4年生を対象に、福祉出前授業を実施した。 社協、民児協についての理解を図るとともに、助け合いの心と実践力の育成を図った。	椎名小学校4年生を対象に、福祉出前授業を実施予定。 SDGsの出前授業を7月に実施した。	社協の協力体制の強化と継続
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ (重点取組項目)	あんしんケアセンター鎌取、緑区健康課と連携して地域に出向いての巡回健康相談会を開催する。 また、住民に対し、地域の諸団体が実施する地域行事への参加を呼び掛ける。	あんしんケアセンター鎌取、緑区健康課と連携した巡回健康相談会(健康相談、健康診断、体操、悩み事相談)は、コロナ禍感染拡大防止のため中止。 地域の諸行事もコロナ禍感染拡大防止のため中止となった。	あんしんケアセンター鎌取、緑区健康課と連携した巡回健康相談会(健康相談、健康診断、体操、悩み事相談)は、コロナ禍感染拡大防止のため中止。 連協、スポレク、民児協と連携し、住民に対し、行事への参加を呼び掛ける。	地域住民の意識の啓発

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>8 家庭や地域の文化・歴史の 伝承と発展</p>	<p>椎名小学校の児童に、羯鼓舞を伝承する。</p>	<p>椎名小学校の児童に地域文化の伝承のため、羯鼓舞を教え、小学校で発表会を実施した。</p>	<p>椎名小学校の児童に地域文化の伝承のため、羯鼓舞を教え、小学校で発表会を継続して実施予定。 椎名小学校の創立150周年記念に協力する。</p>	<p>地域住民の意識の啓発</p>
<p>9 子ども会の活性化</p>	<p>未実施</p>	<p>子ども会無し</p>	<p>子ども会無し</p>	<p>今後の課題</p>
<p>10 老人クラブの活性化</p>	<p>未実施</p>	<p>老人会無し</p>	<p>老人会無し</p>	<p>今後の課題</p>
<p>11 町内自治会の活性化</p>	<p>社会参加の意識啓発のため、町内自治会でのペットボトルキャップの回収活動を推進する。</p>	<p>新しい団地への町内会加入の促進 ペットボトルキャップの回収活動を4町内会で実施。</p>	<p>新しい団地への町内会加入の促進 ペットボトルキャップの回収活動を6町内会で実施。</p>	<p>町内会加入については、区役所との連携を促進</p>
<p>12 地域活動の場の確保</p>	<p>令和元年の台風被害後、閉鎖している椎名公民館の早期の開館と、築50年を迎える施設の改修について千葉市に要望する。</p>	<p>公民館の改築を要望 公民館の開館と改築について関係団体と協議し、千葉市に要望書を提出。 千葉市から、公民館の令和4年1月からの再開と、公民館の改築は将来的な利用の見通し等を勘案しながら検討していきたいとの回答があった。</p>	<p>公民館の改築を要望 公民館の改築について、関係団体と協議し、千葉市に要望書を再度提出予定。 ・公民館駐車場の草刈りを実施した。</p>	<p>地域団体と連携して継続</p>
<p>13 生活環境の整備</p>	<p>住民の交通網機関の確保について、協議する。</p>	<p>住民の交通網機関の確保 買物や病院通院等への交通確保について地域の関係団体で意見交換を行った。</p>	<p>住民の交通網機関の確保 行政機関への連絡体制</p>	<p>巡回バスの対策は可能か</p>
<p>14 家庭における意識啓発</p>	<p>災害時における防災用品の準備や、家族間の連絡方法の確認を行うよう、意識啓発に努める。</p>	<p>日頃から、 災害時における必要品の確認 災害時における家族の連絡方法の確認を行うよう啓発に努めた。</p>	<p>日頃から、 災害時における必要品の確認 災害時における家族の連絡方法の確認を行うよう啓発に努める。</p>	<p>防災グッズ一覧表作成</p>
<p>15 地域における意識啓発</p>	<p>避難所や防災井戸の点検を行う。</p>	<p>9月1日、連協の合同防災訓練の際に、 避難場所の確認 緊急時飲料水の使用場所の確認を行った。</p>	<p>9月1日、連協の合同防災訓練の際に、 避難場所の確認 緊急時飲料水の使用場所の確認を行う。</p>	<p>災害時マップの作成</p>
<p>16 災害時避難誘導體制の充 実</p>	<p>災害時の避難体制について、避難所開設・運営マニュアルで確認する。</p>	<p>9月1日、連協の合同防災訓練の際に、 避難所開設・運営マニュアルにて確認した。 定期的な会合時に備蓄倉庫の確認を行った。</p>	<p>9月1日、連協の合同防災訓練の際に、 避難所開設・運営マニュアルにて確認する。 定期的な会合時に備蓄倉庫の確認を行った。</p>	<p>災害時マップの作成</p>

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
17 情報伝達体制の充実	災害時の情報伝達体制について、避難所開設・運営マニュアルで確認する。	9月1日、連協の合同防災訓練の際に、避難所開設・運営マニュアルにて確認した。	9月1日、連協の合同防災訓練の際に、避難所開設・運営マニュアルにて確認する。	災害時マップの作成
18 防災訓練の充実	連協の合同防災訓練に協力する。	9月1日、連協の合同防災訓練への協力	9月1日、連協の合同防災訓練への協力	参加、情報の共有化
19 緊急時の食料、医薬品等の調達、供給体制づくり	定期的に、災害時の備蓄の確認を行う。	定期的に確認、補充を行う	定期的に確認、補充を行う	区役所との定期的連携
20 災害時ボランティア活動の充実	災害時に活動するスタッフの充実を図る。	災害時に積極的に活動する体制確立について協議した。	災害時に積極的に活動する体制確立について継続して協議する。	区役所との定期的連携
21 身近な防犯、安全対策	防犯パトロールを組織し、パトロールを実施する。	防犯パトロールを組織し自主的活動 防犯パトロールカーによる巡回の実施	防犯パトロールを組織し自主的活動 防犯パトロールカーによる巡回の実施	児童安全確認継続
22 地域諸団体、行政機関との連携	災害時に速やかに協力体制が敷けるよう、日頃から地域団体や行政との連携強化を図ることに努める。	地域団体、行政との協力体制強化に努めた。	地域団体、行政との協力体制強化に努める。	地区の課題は団体連携の強化推進
23 集会所等施設の活用と情報共有	災害時に活用できる地域施設の情報収集する。	災害時に活用できる地域施設の情報収集した。 地域の施設の活用状況の確認 電気水道等の確保のため設備の確認	継続して災害時に活用できる地域施設の情報収集する。 地域の施設の活用状況の確認 電気水道等の確保のため設備の確認	地区の課題は団体連携の強化推進
24 助け合い活動の推進	日常生活のちょっとした困りごとを支援する体制を検討する。	日常生活のちょっとした困りごとを手伝う支援体制づくりについて検討した。お互いに声かけあって	日常生活のちょっとした困りごとを手伝う支援体制づくりについて継続して検討する。お互いに声かけあって	ボランティア参加意識が無
25 外出困難者への支援	外出困難者の支援体制を検討する。	買物、ごみ出し、病院、公共施設への連絡の手伝いについて検討した。	買物、ごみ出し、病院、公共施設への連絡の手伝いについて引き続き検討する。	ボランティア参加意識が無

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>26 見守り活動の推進 (重点取組項目)</p>	<p>ひとり暮らし高齢者等の見守りを行う。</p>	<p>ひとり暮らし高齢者等の内、見守りを希望する方に対して訪問による見守りを行っている。 コロナ禍感染拡大防止のため、訪問の見守りは自粛したが、外からの見守りは継続して実施した。 定期的に見守り協力員の意見交換を行った。</p>	<p>高齢者、障害者、見守りを希望する方の声かけ、挨拶、見回りをを行う。</p>	<p>ボランティア参加意識が無</p>
<p>27 健康づくり支援</p>	<p>高齢者の健康増進を図るため、健康講座等を実施する。</p>	<p>健康講座の開設、食事サービス時の健康相談の実施、ウォーキングの推進は、コロナ禍感染拡大防止のため中止。</p>	<p>健康講座の開設、食事サービス時の健康相談の実施、ウォーキングの推進は、コロナ禍感染拡大防止のため中止。</p>	<p>散歩コースの活用</p>
<p>28 地域の課題解決に向けた連携</p>	<p>令和元年の台風被害後、閉鎖している椎名公民館の早期の開館と、築50年を迎える施設の改修について千葉市に要望する。</p>	<p>公民館の閉鎖・改築に伴う要望書を地域関係団体が協議して作成し、市長に提出。千葉市から、公民館の令和4年1月からの再開と、公民館の改築は将来的な利用の見通し等を勘案しながら検討していきたいとの回答があった。</p>	<p>公民館の改築に伴う要望書を地域関係団体が協議して作成し、市長に再度提出予定。</p>	<p>地域団体と連携して継続</p>
<p>29 障害者（児）の家族の支援</p>	<p>障害者（児）の家族の支援を検討する。</p>	<p>障害者を介護する家族については支援体制を検討した。</p>	<p>障害者を介護する家族については支援体制を検討する。</p>	<p>情報の収集と協力体制推進</p>
<p>30 自宅療養中の家族がいる家庭への支援</p>	<p>自宅療養中の家族がいる家族の支援を検討する。</p>	<p>高齢者・認知症を介護する家庭には支援体制を検討する。</p>	<p>高齢者・認知症を介護する家庭には支援体制を検討する。</p>	<p>情報の収集と協力体制推進</p>
<p>31 ボランティアの確保 (重点取組項目)</p>	<p>地域住民の協力を柱として生活全般について支援する意識を高めていく。</p>	<p>地域住民の協力を柱として生活全般について支援する意識を高めていくため、ペットボトルキャップの回収活動を4町内会で実施。</p>	<p>地域住民の協力を柱として生活全般について支援する意識を高めていくため、ペットボトルキャップの回収活動を6町内会で実施。</p>	<p>ボランティア参加意識が無</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
12 地域活動拠点の整備	R1年(2019)10月25日の大雨により椎名公民館裏山で崖崩れが発生した。このため、公民館の利用が中止された。(同時に子供ルームも利用不可)	<ul style="list-style-type: none"> ① R1.12 市長へ早期復旧要望した。 →管理部署と相談すると回答。 ② R3.2 崖崩れ箇所改善工事を県で実施した。 ③ R3.3 生涯学習振興課(以後「生学課」と表現する)と打合せした。 →休館延長。 ④ 公民館利用団体へ他の会場利用の補助金対策を実施した。 →2団体有。 ⑤ R3.6 区連協要望(早期復旧と代理避難所指定)を提出した。 →R3年度中に方針を決定すると生学課の回答。 ⑥ R3.7「市長と語ろう」会で椎名公民館の見通しについて質問した。 →公民館の耐用年数があと2年あるので、今後の対応を考えると回答。 ⑦ R3.8「緑区椎名公民館改築促進に対する要望書」を市長へ提出した。 →R4.1から利用再開させると回答。 ⑧ R3.12 生学課が椎名公民館利用再開の説明会を公民館で実施した。 ・フェンスを設置するので、利用再開させる。 ・大雨警戒警報が出たら、利用中止。 ・避難所としての利用は不可。 →フェンス工事が完了して4月から夜間も利用可能となった。 		<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① R1.12 緊急的な急傾斜地崩壊対策事業の実施決定(国土交通省) R2年 ・斜面の安全確認実施調査 ・生涯学習振興課は対策を検討中 ③ 工事は崖崩れ箇所だけ実施。 公民館裏山は未実施。 「1年間、公民館の方向性を検討する」との回答だったが、R2年に検討していたのではないかと。 (崖崩れ箇所が工事されたので公民館は利用再開されると思っていた) ④ 民児協他申請。 ⑤ 公民館の代理に指定されている古市場避難所は、コロナ禍でないとしても行政の収容可能人員(920人)の約50%しか収容できないので代理避難所を要望。 *問題点:行政の収容人員計算が現実と違い過ぎる。 ⑥ 連協、社協、民児協、スポ振、小学校、日赤、公民館利用サークルで提出。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寿命の公民館改築。 ・避難所に利用再開。 ・2024年で50年の耐用年数になる。 ・避難所として利用不可。 (大雨警戒警報で利用不可) ・公民館改築計画なし。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
6 地域と学校との交流	<p>福祉教育等への協力 椎名地区部会やその他関係団体と連携し、福祉出前授業や食育支援事業を実施</p>	<p>①椎名小学校4年生福祉出前授業 11月26日に椎名小学校4年生40名を対象に、民生委員による福祉体験授業（アイマスク着用による視覚障害体験）を実施。併せて、民生委員や地区部会の活動を資料・映像で説明。</p> <p>②椎名小学校5年生食育支援事業 食の大切さや農業への関心をもってもらうことや地域住民との交流の一環で実施。 ○4月15日に南部ライスセンターを見学 5年生39名が参加し、稲の育苗の様子や作業を見学した。 ○5月10日富岡町長徳寺下側にて5年生39名による田植を実施 ・コロナの関係で9月予定の稲刈り、11月の太巻き寿司づくりは中止 〈協力関係団体〉 ・南部ライスセンター・椎名地区部会 ・JAみどり野支店女性部・JA職員 ・社協（主催：第503地区民児協）</p>	<p>①椎名小学校4年生福祉出前授業 ・日時 令和4年10月27日（予定） ・場所 椎名小学校 ・内容 民生委員による福祉体験授業 詳細未定 ・参加 4年生40名 民生委員、地区部会関係者</p> <p>②椎名小学校5年生食育支援事業 ○4月南部ライスセンターの見学・中止 ○5月9日富岡町長徳寺下側にて5年生40名が参加し、田植えを実施 ○9月20日上記場所にて稲刈りの予定 ○11月 太巻き寿司づくり 未定</p> <p>※協力関係団体は令和3年度と同じ</p>	<p>①福祉出前授業について ・福祉の分野は広いので、毎年、授業内容は変えているが、民生委員だけでは、限界があるので、福祉の専門職の方の協力を得るなどして、授業内容を見直すことも必要。</p> <p>②食育支援事業について ・事業に携わるメンバーの高齢化が進んでいることから、協力者の確保に懸念がある。</p>
31 ボランティアの確保	<p>新たな担い手確保のしくみ作り 民生委員・児童委員の担い手を確保するためのしくみづくりを推進する。</p>	<p>①民生委員のPRについて 14連協の会議（4月）に出席し、各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼した。</p> <p>②人材の発掘等に係る協力依頼 民生委員の退任に伴う後任の委員について、民児協として、関係町内会に候補者の推薦をお願いし、2名を選任した。</p>	<p>①民生委員のPRについて ・14連協の会議（4月）に出席し、各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼した。 ・14連協の会議（12月以降）に出席し各町内会に「民生委員PRチラシ」の回覧を依頼する予定。</p> <p>②人材の発掘等に係る協力依頼 ・主任児童の退任に伴う後任者について、地区部会の会議（5月）で各団体に候補者の情報提供を依頼した。</p>	<p>①民生委員のPRについて ・今後とも、このような取組を継続していくことで、住民の方に民生委員活動への理解と協力を得たいと考えている。</p> <p>②人材の発掘等に係る協力依頼について ・コロナ禍の中で、民生委員候補者との接触も難しいので、依頼しにくい状況がある。</p>

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
28 地域の課題解決に向けた連携	地域福祉活動団体との連携 地域福祉活動を行っている団体と連携し、地域の様々な行事に協力を行う。	①地区部会常任理事会（1回/月）に出席し、各種取組に関する意見交換を行った。 ②4年生対象の福祉講座など、学校行事への参加、協力を行った。 ③独居高齢者宅に民生委員が訪問 5月に椎名地区部会主催で、安否確認とコロナワクチン接種時の交通費補助を目的に民生委員が自宅訪問（対象者50名） <中止の事業> ・福祉・コミ懇祭り、 ・合同敬老会 ・いきいきサロン ※歳末独居高齢者慰問は民児協単独実施	①地区部会常任理事会（1回/月）に出席し、各種取組に関する意見交換を行う ②4年生対象の福祉講座など、学校行事への参加、協力を行う。 ③歳末独居高齢者慰問 地区民生員が独居高齢者宅を訪問し安否確認を行う（慰問品の贈呈はなし）。 ※12月末に民児協のみで実施予定 <実施予定事業> ・椎名地区部会主催で、米寿・金婚者の記念写真撮影（11/3）予定。	・歳末独居高齢者慰問事業について 椎名地区部会主催の福祉バザーの収益で慰問品を購入し、訪問時に贈呈していた。現在、コロナ禍でバザーの開催が難しいため、予算の確保が難しい状況にあることから、事業内容の見直しが必要と思われる。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・会員、賛助会員、公的機関等に地区部会の福祉事業を知らせて一層の理解、協力を得る。 ・事業に参加する活動会員と推進する支援者を募集して各種活動の充実を図る。 ・地区部会構成団体や関係機関の役割を紹介し連携した効果的な取組みになるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「ふくし」の発行、年2回、1回1.3万部 公的機関には非会員が利用できるよう配布依頼 ・福祉活動写真ニュース、年2回(令3は1回) ・写真パネルによる情宣、パネルの大幅な改善 ・写真を中心にした活動の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「ふくし」の発行、年2回、1回1.3万部 構成団体、関係機関の役割と関連性の紹介の工夫 ・福祉活動写真ニュースの発行、年2回 ・写真パネルの工夫による情宣活動の改善 ・写真を中心にした活動の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を町内自治会加入者(会員)に配付しているが、約38%に上る未加入者(非会員)にはほとんど配布できていない。 ・会員の要望等は各活動の中で個別に対応しているが、必要に応じて全体が共有できるようにする。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供 (重点取組事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動、散歩クラブ、ふれあい食事会の理解を広め、休止中の活動の再開と新たな開設を目指して拡充を図る。 ・各活動の参加率の向上及び会員と支援者の増員を図る一方、他が活用しやすくなるよう活動内容のファイル化に努める。 ・未設置地区の参加希望者を受け入れる体制づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> *いきいきサロン—18箇所×12の予定で159回の実施、会員延1106人、支援者延598人参加 ・感染症の発生状況により活動にばらつきがあり実施率に比し、参加率の回復が遅れている。 *散歩クラブ—5箇所×12の予定で55回実施、会員延235人、支援者延78人参加 ・実施回数は回復したが、会員の参加率が低い。 *ふれあい食事会—2箇所×9の予定、会食に代わる新しい形態を検討するが賛同得られず未実施 ・会員とのつながりを確保するために、電話連絡や食事会だよりにより状況の説明等に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> *いきいきサロン—18箇所×12+5月より[小食土]に新設、ガイドラインに沿った活動に努める。 ・休止の代案としての取組み、ファイル化した好評な内容の活用等により会員の参加率を高める *散歩クラブ—(4箇所月1+1箇所月2)×12と第2サロンの発展としての散歩クラブの新設を図る。 ・散歩しながらできる取組みを工夫し、活動への関心を高めて会員の参加率の向上を図る。 *ふれあい食事会—10月から会食の再開の予定、2箇所月1回の実施から新体制づくりを図る。 ・調理ボランティアの人員不足を補うとともに、会員の要望を取入れた運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に対する様々な思いと各活動のガイドラインを踏まえた取組みに努める。 ・連続的な不参加者の状況確認に努めるとともに、対処の仕方を検討する。 ・マンネリ化している活動を魅力ある活動に改善するための情報交換やファイル化に努める。 ・高齢化した会員と支援者の活力づくりと世代交代を目指して新規募集法を工夫する。 ・未設置地区の参加希望者を受け入れる体制づくり及び新設に向けた働き掛けを工夫する。
4 障害者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・各種福祉施設や団体との共催事業として人とのふれあいをテーマに、福祉の仕事に関心を持ち、理解を深める機会とする。 ・地区部会の独自事業として高齢者と障害者が交流する活動を通して福祉について理解を深める機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> *ふれあい福祉フェスティバル—H18年より参加、年1回2日、パースモール広場、共催団体11、出演団体14、感染症予防のために中止 *ポッチャふれあいサロン—月1回、公民館、高齢者にも障害者にも楽しめるスポーツで交流を図る。ガイドラインの要件に沿った取組みが難しく、実施に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> *ふれあい福祉フェスティバル—10月、1日に短縮共催団体12、出演団体6には障害者施設も参加、 ・出演は中止、写真パネルの展示 *ポッチャふれあいサロン—10月から月1回実施予定、障害者の参加には身体障害者連合会の指導を受ける予定、三密の回避が難しいので感染症沈静化後に実施する予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル写真の単なる展示から情宣活動を意識した展示法を工夫してより効果的にする。 ・障害者へ実際に対応していくことで不安も解消し、楽しみながら共生できるようにする。 ・新しい活動を進める必要条件を整えての実施にしたいので感染症の沈静化を待つこととする。
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が自由に遊べ、親が楽しみながら仲間づくりができるよう見守りに重点を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> *子育てサロン—4ヶ月の休止令で2箇所×8ヶ月回実施、2回は野外活動、会員延341人、支援者延132人参加、会員参加者数は回復していない。 	<ul style="list-style-type: none"> *子育てサロン—2箇所×12ヶ月の予定、2回は昭和の森での野外活動 ・親子への直接的な指導ではなく見守りに重点を置いた活動になるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の初期の仲間づくり、つながりづくりが自由に出来るよう遊びの場、語り合いの場をさらに工夫する。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・室内活動が中心だが屋外活動も取り入れる。 ・支援員の専門性を補い、親の育児を高めるために保健指導員による育児相談会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った活動になるよう共通理解を図り、安全・安心の確保に努める。 ・保健福祉センター保健指導員による歯科を中心とした相談会は2回とも中止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センター指導員による育児相談会2回 ・ふれあい体験学習—土気地区4中学校での学習に親子が協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加会員数は回復していないが、他会場での実施や他団体の活動紹介をする必要もある。
6 地域と学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生の[思春期ふれあい体験学習]に子育てサロン参加の親子が講師として協力する。 ・核家族で体験できない子育て中の親の思いや乳幼児の取り扱いを体感する機会にする。 	<ul style="list-style-type: none"> * ふれあい体験学習協力—土気地区4中学校で各1回、中学生にとっては3年間で1回だけの学習機会だが、感染症予防のために中止する。 	<ul style="list-style-type: none"> * ふれあい体験学習協力—4中学校の指導計画に合わせて各1回、7月、9月、10月に実施 ・中学生の学習に親子で参加して協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい体験学習は各学校の指導計画によるものであるので生徒数も考慮しながら協力態勢を整えていく。
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事の取組みに共催、協賛団体として参加し、つながりづくりに努めるとともに、地区部会の理解を広めていくための情宣活動にも取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> * 土気南中区敬老会—町内自治会、民児協との共催、対象高齢者1600人以上、感染症のため中止 * とけサマーフェスティバル—町内自治会、育成委、交通安協、サッカー等との共催…中止 * 小中学生マラソン大会—育成委主催、協賛団体として支援…中止 * プラザまつり—協賛として展示部門参加…中止 	<ul style="list-style-type: none"> * 土気南中区敬老会—開催に向けて案内を出すのが感染症の発生状況が悪化したため中止になる。 * とけサマーフェスティバル—会場や規模を変更して取り組むが、実施2週間前に中止になる。 ・実施に向けたコミュニティづくりの意義を確認 * 小中学生マラソン大会—参加賞贈呈による支援 * プラザまつり—展示部門での情宣活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・共催、協賛事業としての個々の事業のねらいは異なるが、共通していることは地域のつながりづくりになるという理解を一層深めていく。 ・許容されている範囲での情宣活動を工夫して地区部会の理解と活動の拡大に役立てる。
20 災害時ボランティア活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の状況把握と応急手当の一翼を担うためにも、日頃各種活動会員の状況把握と応急手当の習得に努め、活かせるようにする。 ・自主防災組織による活動に協力して地区部会として取組める活動の検討に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応のためにも日頃の会員の状況把握の仕方を見直して関連付けられるようにする。 ・消防署の指導による救急救命法講習会を3年に1回、推進員と支援者の応急手当の習得に努める。令3年は中止 ・町内自治会自主防災組織からの要請に応えられるように努めるが、まだ働き掛けは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応につなげるように各活動で状況不明の欠席者への連絡をていねいに行っていく。 ・救急救命には質的向上と量的拡大が求められているので定期的な取組みを続けるようにする。 ・町内自治会の進捗状況に違いがあるので、地区部会の果たせる役割についての理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種活動での理由不明の欠席者の状況把握に努め、災害時の対応の素地づくりとする。 ・効率的な状況把握のための体制づくり、及び緊急時の公的機関への通報と待機中に可能な対応について検討する。 ・自主防災組織で地区部会が果たせる役割を検討する。
24 助け合い活動の推進 (重点取組事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の困り事を把握するとともに、助け合い活動の必要性と対応について働き掛ける。 ・助成があるゴミ出しなどを足掛かりに軽作業などの取組みに拡充していく。 ・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりに努めるとともに、他地区での活動開始に向けた支援をし、全地域に徐々に拡大していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大木戸台「シニア支援の会」、大椎台「助け合いの会」の定例会や活動に在住推進員を中心に推進役、支援役として参加する。 ・はなみずき台「おおかぶ会」も含めた3団体の活動内容や運営の仕方を紹介し、他地区の開設に向けて働き掛ける。 ・コロナ禍で会議や事業を自粛したため、働き掛けが余り出来なく進展していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存3団体は確実に実績を上げている。推進役、支援役として引続いて協力、支援に努める。 ・「シニア支援の会」の動機や歩みを好事例として他地区の働き掛けに活用していく。 ・自治会役員が年々交代し問題意識を持続させ、高めていくことが難しい。取組みの発案者を待つだけでなく働き掛け方を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸環境に地域差があり、取組み差が出ている。共通した困り事を中心としながらも地域に応じた働き掛けにより助け合い活動を広めていく。 ・好事例の紹介により発意を期待していたが、より積極的な取組みとして推進員による働き掛けやアンケート調査も検討していくこととする。

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>25 外出困難者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い活動の特別な場合として位置づけ、外出困難者の発見に努める。中でも民児協からの情報を重要視して把握に努める。 ・外出困難者の買い物や通院は深刻な課題で、その対応について理解を広めていく。 ・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりこそ基礎になるという認識で、普段の交流の拡充と既存の活動の紹介に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送の休止に伴い、利用者は困窮している。車利用は容易には組織化できないので既存の団体に受け入れてもらうようにする。 ・大椎台「助け合いの会」、大木戸台「シニア支援の会」の推進役、支援役として協力する。 ・両会とも介護施設2の車を利用しているが、新たに事業所の協力が得られる。 ・情宣活動が各種会議や事業の自粛により余り進展していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3団体の活動の支援役として取組んでいるが、地域の状況は様々なので引続いて主催事業としてではなく支援事業として取組むこととする。 ・3団体は外出困難者への対応を助け合い活動の中に位置付けているが同様の対応とする。 ・各種会議や活動で情宣活動に努めるが、発案者待ちでもある。推進員による働き掛けを見直し、取組みの改善を図るようにする。 ・買い物支援の代案として移動販売や配送サービスの状況把握にも努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援や通院支援の単独での組織化は多くの制約があるので、3団体を取り上げているように支え合い活動の一環として位置付けていく。 ・福祉有償運送の休止に加えてバス路線の廃止も取りざたされているので、対応を見直して支え合い活動の拡大を図る。 ・民間の移動販売や配送サービス、介護タクシーや福祉タクシーを利用しても補えない課題を明らかにして助け合い活動を推進する。
<p>26 見守り活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合い活動とも関連する活動として位置づけて一人暮らしで孤立気味の高齢者を定期的な調査結果などを足掛かりに把握する。 ・閉じこもり→老化→要支援→介護の流れを断ち切り改善する必要性について理解を図る。 ・困り事を気軽に打ち明けられる土壌づくりこそ基礎になるという認識で、普段の交流の拡充と既存の活動の紹介に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大椎台、大木戸台、あすみが丘第一「あすみ見守り隊」に推進役、支援役として参加、運営補助金でも支援する。 ・大椎台—対象者4名→3名、協力者20名→15名、1名を2,3人で担当して毎日実施 ・大木戸台—対象者2名(両方)+3名(ゴミ)、協力者5名、ゴミ出しも手伝い毎週2回実施 ・あすみ第一—対象者11名→9名、協力者18名→21名、5ブロックに分けて月1,2回実施 ・開設に向けた働き掛けが余り出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況は様々なので支援事業として地域における発案者や協力者を支援する活動として取組むこととする。 ・対象者は減少しているが該当者は年々増加しているはずである。増員及び新規開設を目指して情宣活動と推進員による働きかけをする。 ・見守りとゴミ出しは、孤立化の防止や困り事の手助けになるのでセットにした取組みに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りとゴミ出しの同時推進も効果的である。各地区で取り組んでいる防犯パトロールなどと連携した活動のあり方も検討することとする。 ・孤立化の防止だけでなく、日常生活上の困り事を少しでも解決して安心づくりと交流づくりにも努める。 ・支援役としての推進員は開設区域在住者が中心である。他の推進員は未開設地区の支援役として開設につながる情報収集に努めるようにする。
<p>27 健康づくり支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公的機関や専門家による地域住民への直接的指導、推進員と支援者の専門性を補う研修を通して確かな取組みができるようする。 ・活動会員だけでなく、すべての住民が参加できる事業により交流の場を拡大するとともに、心身の健康づくりができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康講演会—保健福祉C推奨講師、住民対象(令3年は40人に限定)の直接的指導、年1回10月 ・ボランティア研修会—保健福祉C推奨講師、推進員と支援者の研修とその成果の活動での活用、年1回(中止) ・昭和の森ウォークラリー—3団体(連協、スポーツ振興)共催、住民対象の心身の健康づくり、定期行事11/23(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康講演会—保健福祉C推奨薬剤師による講話、住民対象80人以内、10月 ・ボランティア研修会—今年は実践事例による自前研修、推進員と支援者対象80人、10月 ・昭和の森ウォークラリー—ガイドラインを踏まえ、各ポイントでのゲームとクイズ、グランドゴルフ及び豚汁の食し方の改善、住民約200人想定、11/23 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの事業も参加者が多数になり、ガイドラインが求める必要な条件を整えるのに難しさがある ・講演会と研修会で交流を図ることは副次的なものであるが、ウォークラリーでは交流を広め、深めることがねらいであるので密の回避の仕方が大きな課題である。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・ 拡充・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・土気いきいきサロン ・社会奉仕兼ウォーキング (ゆうゆう散歩) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と共催事業 平成30年5月発足 毎月第4木曜日定例実施 参加人員 15～20名 (土気団地自治会) ・社会福祉協議会と共催事業 毎月第2月曜日 街路のゴミを拾いながら1時間半程度 ウォーキング 毎回7名程参加 (土気団地自治会) 		
9 子ども会の活性化	子ども会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会として補助しているが、子供が減って活動は低調になっている。 現在土気住宅を含めて小学生10名 (土気団地自治会) 		
10 老人クラブの活性化	老人クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成3年2月発足 サニークラブと称し活発に活動 現在会員数33名 ゆうゆう散歩、団地内パトロール、朝のラジオ体操、誕生会同好会活動支援等広範に活動している。 (土気団地自治会) 		
11 町内自治会の活性化		<ul style="list-style-type: none"> ・住民による団地内清掃毎月2階実施 住民有志による団地内2カ所の公園の花壇の植栽管理、老人クラブ、子ども会、同好会支援実施 (土気団地自治会) 		
18 防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・防災組織 ・防災訓練・備蓄品等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を持ち、役割分担を決めている。集会所を拠点として防災用具、器具などの整備管理をしている。 災害時の助け合いアンケートを実施（要支援者希望者把握） (土気団地自治会) ・町内会独自の防災対策本部を組織4グループ14ブロックによる連絡網の構築をはかっています。防災備品として全住戸に消火器を配付。 (紅葉ヶ丘団地自治会) 		

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>21 身近な防犯、安全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール ・ 空家のチェックリスト ・ 青色防犯パトロール ・ 防犯カメラ ・ 防犯街灯 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サニークラブ(老人クラブ)主体による防犯パトロールを月3回、自治会役員主体による防犯パトロールを月1回実施。 ・ 庭の草刈等を依頼している。 (土気団地自治会) ・ 土気地区4中学校区46自治会輪番でパトロールを実施、土気地区146回 (1自治会当たり3.17回) (土気地区連協) ・ 土気小学校近隣の団地 防犯カメラの維持監理をしている。 (トークン住宅土気自治会) ・ 防犯街灯周りの高枝刈り、沿道の草刈、清掃(町内会全世帯対象) (高津戸町内会) 		
<p>23 集会所施設の活用と情報共有</p>	<p>防災組織の拠点づくりと情報共有</p>	<p>町内会所有の「集会所を避難所として水などの非常職の備蓄をしています。」 (紅葉ヶ丘団地自治会)</p>		
<p>24 助け合い活動の推進</p>	<p>地域住民への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あすみ見守り隊平成27年発足 高齢者の見守りのため現在も継続中 月1回の定例会開催や、自治体ブログで広報をしている。 (あすみが丘第一自治会) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯パトロール隊 土気地区には、千葉南警察署管内防犯協会登録20団体 緑区登録18団体あり 週1~2回拡声器と拍子木を使って巡回実施 2 自主防災組織 土気地区46自治会の内自主防災組織の結成は37団体 残り9団体に結成を促す 自主防災組織の規約に基づく、防災備蓄品の購入及び工具類の補充 3 環境美化活動 46自治会40名の自治推進員 ごみ集積所の管理、側溝のゴミ、泥土の除去及び消毒剤の散布 若葉・緑環境事務所の協力を得て市道農道の草刈及び不法投棄物の回収 不法投棄物禁止の看板設置 ごみステーションの清掃 	<p>コロナ禍の中、自治会活動の多くが制限され、支え合いのまちの課題が思うように進まないところであるが、高齢化が進行し高齢世帯、高齢独居暮らし世帯が多くなっている。</p> <p>災害時要支援者の把握も必要であるが、災害時に限らず、日常での助け合い、支援が必要な状況にあると思う。</p> <p>これらの方々は、様々な悩みや不安、要望をもっていると思う。自治会で解決できるものはかぎりありますが、放置する事は出来ません。</p> <p>悩みや不安、要望は住民が等しく認識、理解しておくことが必要と考えます。一人の支援を必要とする人を、支えるたは、複数の人が必要になります。</p> <p>また、プライバシーに関わる事柄など難しい課題が沢山あります。</p> <p>これらの難問題を解決するためには、民児協、社協と情報を共有し解決策を見出せるよう活動したい。</p>

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>25 外出困難者への支援</p>			<p>1 イオンリテール株式会社の協力を得て、土気・越智中学校区の各所で週1～2回移動販売実施 2 高齢者ゴミ出し支援</p>	<p>利用者の減少で取りやめた場所あり</p>
<p>26 見守り活動の推進</p>	<p>地域住民への支援</p>	<p>・回覧板を回す際、対面での受け渡しをし、隣家とのコミュニケーションをとっている。 (トーカン住宅土気自治会)</p>	<p>1 全住民で両隣の見守りを行うのが原則 (おおかぶ会 (会員200名) 互助活動組織と協力) 2 学童の登下校時の交差点で見守り 3 自治会各般で高齢者や1人住まいの方に声掛け、訪問するようにしている。 4 千葉市高齢者緊急通報システム・千葉市安心電話事業案内の利用を促す</p>	
<p>27 健康づくり支援</p>	<p>ラジオ体操</p>	<p>・平成26年9月発足 第一公園で毎朝6時30分からラジオに合わせて実施。毎回20名前後が参加 (土気団地自治会の他 山の谷・楓台・梅ヶ丘合計30名)</p>		

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者の居場所づくりの協力 ・千葉市および緑区の福祉行政に係わる諸活動の協力 一斉調査・実態把握実施 ・千葉市社会福祉協議会の諸活動への協力	・「いきいきサロン」、「オレンジカフェたんぽぽ」、「コミュニティカフェお茶っこ」は、コロナ禍の中、包括支援センターの支持を仰ぎながら実施し、休止を決めながら運営をした。 ・地域の活性化を図るために協力した。	・「いきいきサロン」は各所で開催。 ・「オレンジカフェたんぽぽ」は、第1、3木曜日に、2班に分けて実施。 ・「お茶っこ」は、空き家が使用不可となり、近くのお寺から、町内会館へ引っ越した。	・高齢者の皆さんが家にこもりがちにならないように外に出る機会、集まり、情報交換した。社会と係わりながら、健康的に生活できる手伝いを企画していきたい。 ・コロナ禍の中、安心の運営を実施したい。
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充 7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	子育てサロンや地域活動への協力 ・土気地区部会や町内会、自治会等の諸活動への協力を行う。	・ふれあい体験学習の運営に協力し、子どもたちに命の尊さについて感じる機会を与える。 ・不登校の生徒の家庭訪問 ・ヤングケアラー該当の生徒の家庭訪問	・土気中学校3年生の生徒と土気地区部会子育てサロンの参加者の交流会として楽しみにしてもらっている。 ・学校ソーシャルワーカーとの情報交換	・ふれあい体験学習については、来年度も引き続き協力していきたい。 ・また見守り活動は、今後も引き続き継続して活動していきたい。
13 生活環境の整備	地域環境の改善 ・学校区内の危険個所の特定、通学路の整備を促進する。	・23連協、スポーツ振興会、土気地区部会が共催で実施している昭和の森ウォークラリーへの協力を行う。 ・土気地区6小、4中学校マラソン大会にスタッフとして協力参加。 ・育成委員会理事として参加し、地域の環境、危険個所の確認を情報交換する。 ・通学路の拡幅工事を見守る。	・昭和の森ウォークラリー（11/23）実施に向けてスタッフ会議に参加する。 ・土気地区小中学生マラソン大会（1/14）実施に向けてスタッフ会議に参加する。	・昭和の森ウォークラリーは、スタッフとして、またマラソン大会でもスタッフとして参加者のために協力する予定である。
28 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議への参加 ・あんしんケアセンター主催の地域ケア会議「見守りネットワーク土気会議」に参加している。	・地域ケア会議に参加し地域の情報共有や共有事項の守秘の厳守と課題解決に向けて話し合いの場に参加する。 ・推進、連携を強めていく。 ・市交通政策課と高津戸の問題点を考える。	・月1回の「見守りネットワーク会議」に参加し、地域の関係機関と連携し情報共有。 ・千葉市で1番交通の便が不便といわれる高津戸のことを考える会に参加している。具体的な案を提案する会議。	・今後も継続参加し、地域のために情報交換し、共有し合いながら福祉関係の点で協力をする。 ・予約制ではあるが、バスの運行で地域の「足」になるように見届けたい。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
13 生活環境の整備	地域環境の改善 学校内・通学路の危険個所の改善	・環境整備活動として8/31に予定されていたが緊急事態宣言発令により中止。	・8/31に予定通り環境整備活動実施済。	
21 身近な防犯、安全対策	空地・空き家の解消 空地・空き家のままにしておくことの危険性・デメリット等の周知を図る		・専門家を招いての勉強会実施	・所有者不明の解消方法
26 見守り活動の推進	地区の見守り活動団体との連携 はなみずき台の「おおかぶ会」 大椎台団地の「助け合いの会」 大木戸台団地の「シニア支援の会」	・把握できている問題点の整理 ・独居中の後期高齢者へのケア 越智中の生徒会の協力により手製のクリスマスカード配布	・それぞれの立場で何をなすべきか 効率的・効果的な方策の模索 定期的な会合の実施 ・クリスマスカードの配布継続 ・日常的な訪問等の支援の充実による高齢者等との信頼感の更なる向上	
28 地域の課題解決に向けた連携	地区内の町内自治会との関係の緊密化 問題意識の統一化 地域ケア会議への参加・協力 見守りネットワーク土気会議への参加	・町内自治会長会議への参加 定例会に出席 ・月例会議の実施 地域内の問題点・状況の共有 専門家による説明会の実施	・町内自治会長会議への参加継続 ・月例会議の実施 地域内の問題点・状況の共有 専門家による説明会の実施	・町内自治会長の一年での交代

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供	<p>「タバコと健康」授業の実施 平成17年度実施の第2次アクションプラン行動画に基づく「タバコと健康」の授業を継続実施し、内容をさらに充実させ、子どもたちの健康保持のため、学校との交流を一層深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土気南小学校の5年生約120名対象に10月28日に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度を除き、毎年実施してきたが、子供たちに喫煙が健康に如何に悪影響を与えるかを十分に伝えることが出来たと思います。 ・長期間の実施を通じ土気南小学校の先生方が内容をマスターされ、令和4年度以降は自ら継続して実施していくとのことで民児協としては活動引継こととした。 	
21 身近な防犯、安全対策	<p>地域内小・中学校との情報交換及び昔遊びの指導協力 児童の健全育成のためには、学校等との連携を図り適切に対応する必要がある。このため、学校との情報交換や昔遊びの指導を通し、連携を密にする。</p>	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、地区定例会に土気南中学校及び土気南小学校の学校長をお招きし情報共有のため1月8日に実施した。新任の両中学校長との顔繋ぎを行うことができた。 <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土気南小学校1年生児童を対象に、他団体との共催で行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。 	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して打ち合わせを実施の予定であるが、「要対協」会議で住所が「あすみが丘」の報告事例が増加傾向にあり、教務主任はじめ現場により近い先生方との情報交換会も行っていきたい。 <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月に実施の予定だが、新型コロナウイルス感染の状況次第で開催可否を決めたい。 	<p>【情報交換会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して打ち合わせを実施の予定であるが、「要対協」会議で住所が「あすみが丘」の報告事例が増加傾向にあり、教務主任はじめ現場により近い先生方との情報交換会も行っていきたい。 <p>【昔遊び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題としては、高齢化の進展で指導者の確保が困難になっていることへの対応策立案。 ・児童達の身近に居る祖父母の積極的協力を得て、指導者確保を検討していきたい。
26 見守り活動の推進	<p>地区の見守り活動団体との連携 地域で行われている見守り活動団体と連携し、地域での見守り活動への協力を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あすみが丘第一自治会の「見守り隊活動会議」に担当民生委員が会議に参加し、情報提供やアドバイス等を行う一方、見守り対象者登録を行っていない「気になる高齢者」への対象者登録の呼び掛けを行っている。(会議参加者は、約10名) ・新型コロナウイルス拡大に伴い、令和2年11月以降オンライン会議方式が集合会議に変更され参加再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係専門機関と連携強化を図り、課題対応の活動を積極的に参加継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者化の進展が著しい地区でもあり、見守り対象者への新規登録の勧誘活動を継続して実施していく。 ・核家族化が進む中、遠隔地に居住する独居者家族への対応方法などのアドバイス強化

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
28 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議への参加 地域ケア会議(土気見守りネットワーク会議)に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月参加してきた会議であるが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催回数は5回で中止の月が多かった。開催された月は、積極的に意見やアドバイスを述べた。(参加者は、約15名) 多くの参加者が積極的に意見を述べ、主催者のアレンジで勉強会も行うなど非常に有意義な会合です。(参加者は、あんしんケアセンター職員、社協緑職員、4地区民児協会長、土気地区連協会長、社協土気地区部会長、3いきいきセンター職員で構成されています) 	<ul style="list-style-type: none"> 関係専門機関と連携強化を図り、課題対応の活動を積極的に参加継続 	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者数の増加に伴う、寄り添いの強化 連携した対応強化策の検討 気になる高齢者対応のための情報交換
27 健康づくり支援	高齢者の高血圧者比率の低減活動(新規) 緑区の中で土気地区高齢者の高血圧者比率がトップであり、関係専門機関との連携を通じて中長期的に低減を目指す。		<ul style="list-style-type: none"> 課題、困難性を熟慮し、まずは関係機関との打ち合わせを行い、概略計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> この活動は、中長期的活動を要すこと、また、活動の効果の実証は容易ではないが、低減は高齢者福祉に大きく貢献すると思われ腰を据えて対応していく必要がある。 成果実績のある他地区の活動情報入手、連携機関選定、役割の明確化などを通じ本地区にマッチした活動計画策定など関係機関との連携を強化した活動が必須
16 災害時避難誘導體制の充実	避難行動要支援者へのサポーター作り(新規)		<ul style="list-style-type: none"> 民生委員が保有する名簿に掲載されている方のスクリーニング 連協の支援を受け、各町内自治会が抱える悩みなどの把握。関係機関の意見聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営委員として活動する委員が名簿を有効に活用できるようにすること 行政機関との打ち合わせを通じ、有効活用できるようにしていくこと
15 地域における意識啓発	民生委員自身の意識高揚 住民への啓蒙活動		<ul style="list-style-type: none"> 委員も一人の住民として、諸対応の準備 チラシなどを定常活動時に配付、説明 	
1 情報の収集と共有化	分野別の行政サービスの提供(新規)		<ul style="list-style-type: none"> 土気地区部会の広報誌への寄稿 	
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供(新規)		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 特に意識しているのは、地元デビューしていない高齢男性の居場所作り
該当項目なし	出産を控えた母親、新生児を持つ親との関係作り(新規)		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを迎える母親との交流を持ち、将来の悩みなどを相談できる関係の構築(一人で悩ませない体制作り)

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	民生委員・児童委員活動のPR	コロナ禍でPR活動は中止。	令和4年5月12日（木）～18日（水）あすみが丘プラザ 1F ホールで、「民生委員・児童委員の日活動強化週間」に合わせてPR活動を行った。	PRグッズを活用し、広くPRを行う。
14 家庭における意識啓発	安心カードの活用 75歳以上の独居高齢者及び必要とする高齢者に対して、安心カードを配布する。	コロナ禍で十分に活動ができなかった。	安心カードの配布を高齢者実態調査時に行った。	独居高齢者への徹底化を図る。
26 見守り活動の推進	高齢者実態調査の実施	コロナ禍で調査中止。	3年振りの高齢者実態調査を実施し、見守り活動を行う。	団塊世代の高齢化に伴い、高齢者の増加が見込まれるので、より一層の活動を要する。
28 地域の課題解決に向けた連携	地域ケア会議への参加 見守りネットワーク土気会議に参加し、地域の課題解決に向けた連携を行う。	月1回の会議が予定されていたが、コロナ禍で4回しか会議が実施できなかった。	会議に参加し、地域の情報共有や課題解決に向けた話し合いを行っていく。	高齢者の増加に伴い、増々、今後の必要性がある。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組内容	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
30 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	<p>ア 認知症サポーター養成講座や認知症SOS声掛け訓練を実施し、認知症になっても安心して暮らせる体制づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方を見かけた時に戸惑ってしまわないように、認知症の方が道で困っていることを想定し声をかける疑似体験を通じ、認知症の方への見守りや声掛けができる地域を目指す。 ・中学生や地域住民を対象にした認知症サポーター養成講座を実施し、認知症にたいする知識を地域に広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもあり、認知症サポーター養成講座や認知症SOS声掛け訓練を行う機会がなかった。 ・土気中学校生徒向けの認知症サポーター養成講座を10月の開催に向けて準備したが、感染症拡大防止の観点から中止になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月27日に第一生命おゆみの支店にて認知症サポーター養成講座を実施予定。(46名参加予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大の波が繰り返しあり、対面での養成講座が行いづらい状況になっている。 ・少人数での講座の実施や、オンラインでの実施など感染対策を講じながら実施を考えていく必要がある。 ・また、認知症の普及に関する広報誌等の配布など検討していく必要がある。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供	住民全体で「子どもは地域で育てる」という意識をもち、子どもたちの集いの場の提供・情報提供、地域と学校との交流等、青少年育成委員会やボランティア団体等と連携しながら推進していく。	1) 子育てサロン：親子の遊び場や居場所の提供 3回 R3. 5. 18 親子の交流 7名 R3. 6. 23 小田先生の「親子であそぼう！」13名 R3. 7. 15 親子の交流 8名 場所：おゆみ野公民館・鎌取コミュニティセンター 2) 9月以降の子育てサロンと研修会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止 3) その他情報交換等のための委員会開催 8回 4) おゆみ野四季の道駅伝大会中止 5) さくらさくウォークラリー中止	1) 子育てサロンの実施：年10回 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R4. 5. 17、R4. 9. 13、R5. 1. 17 ・おゆみ野公民館 R4. 7. 14、R4. 11. 17、R5. 2. 16 ・緑保健センター R4. 6. 1、R4. 10. 26、R4. 12. 14、R5. 3. 15 2) 講演会・講習会・研修会の企画・参加：年1回 3) 緑保健福祉センター及び地域の子育て関連 団体への支援協力と連携 4) その他情報交換等のための委員会開催	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	ふれあい・いきいきサロンやふれあい散歩クラブ等、高齢者の集う場の設置を推進する。高齢者の状況を把握し、必要としている情報について関係機関（あんしんケアセンターや地域運営委員会等）に紹介する。	1) ふれあい・いきいきサロン：高齢者とのふれあい交流の場の提供 1回 R4. 1. 13 千葉南警察署署員による「交通安全・防犯についての講話」 17名 2) 小規模いきいきサロンの開催（5か所）（おゆみ野公民館、エステシティおゆみ野、4丁目、なつめ、サンクレイドル） 3) その他情報交換等のための委員会開催 8回 4) さわやか散歩：新型コロナウイルス禍の中、「三密」を避け行事名を「さわやか散歩」と名称変更し計画したが、緊急事態宣言等の発令により開催中止。 R3. 5. 24、R3. 9. 27、R3. 11. 29 R4. 2. 14 雨天中止。 5) ランチの集い及び研修会は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	1) ふれあい・いきいきサロン：年8回 開催時間：午後1時10分～3時 ・鎌取コミュニティセンターほか R4. 5. 12、R4. 6. 9、R4. 7. 14、R4. 9. 8、R4. 10. 7、R4. 11. 10、R4. 12. 8 R5. 2. 9 2) ランチの集い： 年1回 R5. 3. 9 午前10時半～ 鎌取コミュニティセンター 3) 講習会、研修会への参加 4) さわやか散歩：年4回（5・9・11・2月） 5) 小規模いきいきサロン開催の支援 6) その他情報交換等のための委員会開催	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>4 障害者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供</p>	<p>障害者(児)の状況を把握し、必要としている情報や関係機関を紹介する。障害者(児)やその家族が交流できる場を作る。地域住民と障害者(児)やその家族と交流する機会を設け、障害に対する認識を深めるとともに、地域全体で「心のバリアフリー」を進める。</p>	<p>1)おしゃべり会：障がい児者・保護者の交流会 3回 R3.6.16 フリートーク 10名 R3.11.17 フリートーク 12名 R4.2.16 フリートーク 11名 2)イベント企画：過年度お楽しみ会参加者対象の企画、 ①鎌取コミュニティセンターに七夕飾り設置 R3.6.23～7.7 短冊作成募集 短冊73名 ②鎌取コミュニティセンターにクリスマスツリー設置 R3.12.4～25 キャンドルカード作成募集 63名 ※クリスマスツリー写真をクリスマスカードに加工し参加者に配付70名、泉谷中学校特別支援学級、わくわくぎふと鎌取、スリーセブン、 3)その他情報交換等のための委員会開催5回 4) お楽しみ会は中止</p>	<p>1)新しい生活様式に合った地域での活動：年2回 2)おしゃべり会：障がい児者・保護者の交流会 年4回、開催時間：午前10時～、おゆみ野公民館 R4.6.15、R4.9.21、R4.11.16、R5.2.15 3)種講習会・研究会への参加 4)施設への訪問 5)その他情報交換等のための委員会開催</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>
<p>5 子育ての中の親や子どもが集う場の開設・拡充</p>	<p>発育、発達、しつけなど子育てへの不安や悩みなどを抱える親に対して、保健福祉センター等と協力し、相談会、講習会などを開催するよう努める。子育て中の親や子どもが集い、仲間づくりができる場(ふれあい・子育てサロン等)を拡充する。</p>	<p>(再掲) 1)子育てサロン：親子の遊び場や居場所の提供 3回 R3.5.18 親子の交流 7名 R3.6.23 小田先生の「親子であそぼう！」13名 R3.7.15 親子の交流 8名 場所：おゆみ野公民館・鎌取コミュニティセンター 2)9月以降の子育てサロンと研修会は新型コロナウイルス感染拡大のため中止</p>	<p>(再掲) 1)子育てサロンの実施：年10回 開催時間：午前10時～ ・鎌取コミュニティセンター R4.5.17、R4.9.13、R5.1.17 ・おゆみ野公民館 R4.7.14、R4.11.17、R5.2.16 ・緑保健センター R4.6.1、R4.10.2、/R4.12.14、R5.3.15 2)講演会・講習会・研修会の企画・参加：年1回 3)緑保健福祉センター及び地域の子育て関連 団体への支援協力と連携</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>24 助け合い活動の推進</p>	<p>日常生活のちょっとした困り事の手伝いや家事支援が出来るような体制づくりに努める。</p>	<p>1) ボランティア講習会 R4.1.28 シニアサイン講座 まん延防止等重点措置の延長と罹患者の増大により中止 2) 高齢者福祉委員会への協力(再掲) R4.1.13 ふれあい・いきいきサロンに参加協力 3) その他情報交換等のための委員会開催7回 4) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネートを実施 登録ボランティア人数:R4.3現在 21名</p>	<p>1) ボランティア講習会:年1回(10月) 2) 高齢者福祉委員会への協力 3) 地域・学校行事等への協力 4) 登録ボランティアに対する地区部会活動のコーディネート (行事案内、懇談会の開催、時節挨拶状の送付、名簿管理等)</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>
<p>26 見守り活動の推進</p>	<p>一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、また体に障害のある方などの見守りを希望する人に対して、地域住民による訪問・声かけ等を行う。 社会的孤立を防ぐため、挨拶運動など、住民同士が日常生活の中で無理なく行える見守り活動を実施する。</p>	<p>常日頃から地区民生・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努めている。</p>	<p>常日頃から地区民生・児童委員・各学区の育成員会と連携を密にし、高齢者及び小中学校等地域住民の見守りをするとともに、福祉推進員の協力のもと問題等の把握を迅速に行う体制の整備に努める。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>
<p>27 健康づくり支援</p>	<p>健康を保持する活動を保健福祉センター・あんしんケアセンター及び地域の医療機関等の協力を得て、地域の集会やイベントの機会を利用して実施する。 ラジオ体操やシニアリーダー体操、健康ウォーキング等への積極的に参加する仕組みづくりを推進し、実施する。</p>	<p>新型コロナウイルスまん延防止等重点措置発令と罹患者の増大などにより、地域の集会やイベントの開催機会を得られなかったことなどから、関係機関の講師招へいができなかった。</p>	<p>各委員会の活動の中で、保健福祉センター及びあんしんケアセンター並びに地域医療関係等の協力を得て、講演や訪問などを具体的に計画する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>
<p>重点項目以外の活動</p>	<p>高齢化の著しい進行に伴い、高齢者世帯における認知症問題が大きくクローズアップされており、あらためて認知症との向き合い方、地域・家族で出来ることの知識の向上と対策などを習得する。</p>	<p>1) 映画上映会:「ぼけますから、よろしくお願ひします。」 R4.2.5 鎌取コミュニティセンター 113名 共催:鎌取コミュニティセンター(二部上映にて実施)</p>	<p>日常生活における地域の諸問題などに関連した講演会等をスポット的に実施する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分図りつつ、実施可能な事業及び方法を検討する必要がある。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	<おゆみ野地区連協の活動> 地区行事の実施	①おゆみ野夏祭り 新型コロナの影響により中止 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第1日曜日開催	①おゆみ野夏祭り 新型コロナの影響により中止 ②おゆみ野地区町内自治会会長会 毎月第1日曜日開催	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
6 地域と学校との交流	<学校との交流> 地域と学校との交流	①小学校：昔遊び、中学校：ゴミ拾い ②育成委員会のパトロール ③学校花壇の花植え ④さくらさくさく ①～④について、令和3年度は新型コロナの影響により中止	①小学校：昔遊び、中学校：ゴミ拾い ②育成委員会のパトロール ③学校花壇の花植え ④さくらさくさく ①～④について、令和4年度は新型コロナの影響により中止	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	<スポーツ振興会> スポーツを主体とした行事への協力	①四季の駅伝 ②おゆみ野市民体育祭 ③ソフトボール大会 ①～③について、令和3年度は新型コロナの影響により中止	①四季の駅伝 令和5年2月に規模を縮小し開催予定 ②おゆみ野市民体育祭 新型コロナの影響により中止 ③ソフトボール大会 開催方法を変更し開催予定	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
18 防災訓練の充実 15 地域における意識啓発	<防 災> 地域での防災活動	①各地区九都県市避難所訓練 ②避難所訓練 ①・②について、令和3年度は新型コロナの影響により中止	①各地区九都県市避難所訓練 令和4年9月1日実施 ②避難所訓練 令和4年8月28日実施	感染症の状況に応じて開催方法等を検討する必要がある。
21 身近な防犯、安全対策	<防 犯> 地域での防犯活動	①防犯カメラの設置 おゆみ野地区遊歩道に6台設置 ②青色パトロール 防犯協会において毎月1回実施	①防犯カメラの設置 地域の要望に応じ協議 ②青色パトロール 防犯協会において毎月1回実施	感染症の状況に応じて実施方法等を検討する必要がある。
26 見守り活動の推進	<見守り> 地域における見守り活動	①セーフティウォッチャー 令和3年度は新型コロナの影響により中止	①セーフティウォッチャー 新型コロナの影響により中止	感染症の状況に応じて実施方法等を検討する必要がある。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
<p>2 子ども達の集いの場の提供・情報提供</p> <p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充</p>	<p>「支え合う 住みよい社会 地域から」の推進</p> <p>社協おゆみ野地区部会の中核的活動を担うと共に、その他地域関連団体組織との協働により、積極的な地域福祉活動に努める。</p>	<p>○地域部会への協力</p> <p>地区部会の委員として活動し、高齢者、障害者（児）、子育て中の親子が集う場の提供に協力した。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サロンなどの開催は大幅に縮小され、下記の通りとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい・いきいきサロン 1回開催（1/13） ・さわやか散歩 4回計画したが、3回はコロナで、1回は雨天ですべて中止になった。 ・おしゃべり会 3回開催（6/16、11/17、2/16） ・おたのしみ会は中止になったが、七夕飾り（6/23～7/7）やクリスマスツリー（12/4～12/25）の作成と展示を行った。 ・子育てサロン 3回開催（5/18、6/23、7/15） <p>○地域・学校行事への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ運動 毎月1週間実施 ・小中学校校長との懇談会（6/15）および各校との交流会（泉谷中：6/21、泉谷小：6/25、小谷小：7/9）を実施 ・児童・生徒と一緒に花植えを行った。（泉谷小：12/7、泉谷中：12/20 小谷小：1/17） ・昔あそびの伝授はコロナで中止。 	<p>○地域部会への協力</p> <p>ふれあい・いきいきサロン年8回、ランチの集い年1回、おしゃべり会年4回、お楽しみ会年2回</p> <p>子育てサロン年10回、さわやか散歩年4回 などの部会の委員として活動し、高齢者、障がい者（児）、子育て中の親子が集う場の提供に協力。</p> <p>○地域、学校行事への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当小中学校校門前で毎月1週間、朝のあいさつ運動の実施 ・担当小中学校校長との懇談会及び交流会において学校内の様子を把握することに努める。（7月、9月） ・担当小中学校での「花いっぱい運動」における花植え活動の実施（11月） ・おゆみ野地区小学校への昔あそびの伝授（11～1月） ・おゆみ野四季の道駅伝大会への協力（R5年2月） <p>○青少年育成委員会・地域運営委員会等の諸行事や会議にも協力・参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泉谷方面、小谷方面遊歩道足跡ペイント再塗装への協力（9/23、10/2） 	<p>・積極的な地域の福祉活動を行うための地域部会活動への協力体制、地域・学校行事への協力体制を、より確立していくこと。</p> <p>また、新型コロナウイルスによる活動への制約に対しての活動見直しが必要である。</p>

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
16 災害時避難誘導體制の充実	「災害時一人も見逃さない運動」の推進 ・高齢者実態調査、避難行動要支援者名簿、年末の重度心身障害児家庭慰問金配布などの資料を元に取り組み、安全で安心なまちづくりに努める。 ・避難所運営委員会への参画により、災害時の避難所の運営について検討する。	○高齢者実態調査はコロナの感染拡大で中止になったが、日常の見守り活動などにより、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努めた。 ○令和3年度は台風の影響もほとんどなく、災害対応では特段の活動を必要としない一年であった。	○日常の見守り活動などにより、高齢者や災害時要支援者の最新情報の把握に努める。 ○台風・地震などの災害時は、安全確認や被害状況の把握、情報伝達を行う。 ○避難所運営委員会の会議参加により、災害時における避難所の運営について地区ぐるみで検討する。(月1回)	・コロナ禍の中での活動見直しを検討しながら、日常の見守り活動などをより充実させていく。 ・自治会と協力し、具体的な避難支援体制作りが必要である。
28 地域の課題解決に向けた連携	他地区民児協との連携 おゆみ野地区全域に関わる課題を第508、511地区と連携し、活動する。	○コロナの感染拡大により、「おゆみ野四季の道駅伝大会」や「さくらさくさくウォークラリー」など、おゆみ野地区全域に関するイベントは中止になった。 ○毎年行っている各町内自治会長と民生委員・児童委員の意見交換会も、コロナの感染拡大により中止になった。	○「おゆみ野四季の道駅伝大会」(2月)や「さくらさくさくウォークラリー」(3月)など、おゆみ野地区全域に関するイベントなどの支援・参加を、508・511地区と連携して活動する。 ○各町内自治会長との意見交換会を開催し、民生委員・児童委員の活動内容を理解してもらう。(6/5)	・508・511地区との連携を続けながら、おゆみ野地区全域に関わる課題をより強く共有していくこと。 ・自治会と民生委員・児童委員との日常的な協力体制の構築が必要である。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
2 子ども達の集いの場の提供・情報提供	有吉中学校、有吉小学校、扇田小学校を対象に活動を行っている。 あいさつ運動や花植え活動、算数教室等の指導を行う。	1. あいさつ運動は、有吉中学校において、5～3月にかけて行った。 延べ50日、550人。 2. 花植えは、小・中学校の生徒と行い、5～6月は25人、11月は26人。 3. 算数教室等は、コロナ感染予防のため中止。	1. あいさつ運動の実施 有吉中学校の正門・裏門にて、5～3月まで実施。毎月5日間実施。 延べ50日、約550人。 2. 花植えの実施 5～6月、11月に有吉中、有吉小、扇田小で実施。延べ約50人が参加。 3. 算数教室 扇田小4～6年生の希望者に実施。 4. 放課後カフェの実施 有吉中にて年3回予定。	新型コロナウイルス感染予防のため、活動を工夫して行っていく。 活動に対し、委員全員が積極的に参加するようにする。
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	他地区との協働 おゆみ野地域の第502、511地区民児協と協働し、連携が保たれる民生委員・児童委員活動を行う。 (地域の行事・敬老会・その他)	コロナウイルス感染予防のため、全て中止。	1. 地域の行事に参加、協力 ・さくさくさくウォークラリー ・四季の道駅伝 ・おゆみ野夏祭り 2. 自治会・町内会との情報交換会 3. 敬老会に協力	第502、511地区と協働し、連携が保たれる民生委員・児童委員活動を行う。 民生委員・児童委員と自治会との密な連携が必要。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
<p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充</p>	<p>千葉市社会福祉協議会おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属</p> <p>中核的活動を担うとともに、その他福祉関連団体組織と交流を図り、積極的につながり福祉活動に努める。</p>	<p>【おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属】</p> <p>高齢者・障がい者・子育て・ボランティア・広報委員会にて、年間計画(イベント・サロン・勉強会・講習会等)のもと、集う場の提供・情報提供をした。(あんしんケアセンター・保健センター・その他地域団体の協力)</p> <p>【小規模いきいきサロンの実施】</p> <p>●ウェルエイジングの会</p> <p>第3・第4水曜日おゆみ野公民館にて申込制。4・5・6・7・10・11・12・1・3月実施。</p> <p>延べ人数 350名。</p> <p>内容 シニアリーダー体操・脳トレ・ハーモニカ・演奏季節の歌・クリスマス会・手遊び・クイズ等</p> <p>健康(熱中症・体操・フレイル・コロナ情報等)・食(減塩等)に関する話など</p> <p>コロナ禍の中でも高齢者の場の提供ができ、より高齢者同士が交流を深め高齢者同士の輪が広がってよかった。</p> <p>●さんきん会</p> <p>第3金曜日サンクレイドルおゆみ野集会所にて。マンション内のため、人の出入り禁止により一年間中止した。</p>	<p>【おゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属】</p> <p>いつ収束する見通しが経たない中であるが、感染対策を強化しながら、やれることをやり、福祉関連団体組織と交流を図り、積極的に参加し、福祉活動に努めていく。</p> <p>【小規模いきいきサロンの実施】</p> <p>●ウェルエイジングの会</p> <p>第3・第4水曜日おゆみ野公民館にて申込制。12ヶ月開催予定。今後12月頃より、1回開催を検討。</p> <p>●さんきん会</p> <p>外でサロン開催(散歩・体操等)を検討中。</p>	<p>・今後もおゆみ野地区部会「5つの委員会」に所属し福祉活動に協力する中で、現在、社協の委員はほとんどが民生委員であり、本来の社協の運営等を担うべき担い手(福祉委員)がいない状況である。担い手となっている民生委員もますます高齢化が進んでいるのが実情です。地域住民の地域福祉への理解や関心の希薄化から安定して継続的に活動していくには新しい担い手を発掘していかなければならない。</p> <p>その為、44連協会長会にて、新規登録の勧誘活動(地域住民の方々の福祉推進員を増やす・自治会から派遣等)に協力していきたい。</p> <p>●さんきん会</p> <p>今後、場所の確保・連絡方法を検討。</p>
<p>7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ</p>	<p>他地区・他団体との協働・連携</p> <p>おゆみ野地域の第502・508地区と協働し、連携が保たれる活動を行う。</p>	<p>おゆみ野502・508地区民児協との協働・連携</p> <p>必要に応じて、理事会後、話し合いをもった。</p>	<p>おゆみ野502・508地区民児協との協働・連携</p> <p>おゆみ野地域の第502・508・511地区と研修会開催。9/17(土)緑保健福祉センターにて東部児童相談所所長 山口氏(仮)「児童虐待の現状と適切な対応について」</p>	<p>・おゆみ野502・508地区民児協と、今後も勉強会や研修会を開催し、地区内の状況を把握し共有し合っていきたい。</p> <p>・おゆみ野南中学校区の自治会会長との顔合わせと情報交換会を通して、地域にて、一人一人が顔の見える民生委員・児童委員になることを目標に、広く民生委員・児童委員への理解、促進を図っていく。</p>

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
	<p>関係行政機関・諸団体への連携・協力 地域の行事・敬老会等に参加し、コミュニケーションを高める。</p>	<p>関係専門(行政)機関・諸団体への連携・協力 新型コロナウイルス感染拡大により下記の行事すべて中止。 ●さくらさくさくウォークラリー4月 ●四季の道駅伝大会 2/20(日) ●自治会との情報交換会 7月 会合が中止のため、後日、おゆみ野南中学校区 22 自治会へ書面にて担当民生委員一覧表を配布し担当民生員を知って貰った。 ●敬老会9月から10月 各自治会へ開催の呼びかけ(人数の情報提供あり)をし、参画・協働したが、余儀なく中止。 ●育成委員会のイベント等に参画・協働(随時)</p>	<p>関係専門(行政)機関・諸団体への連携・協力 ●さくらさくさくウォークラリー4月中止 ●おゆみ野南中学校区の自治会会長との顔合わせと情報交換会 6月5日(日)鎌コミにて12名参加 内容 担当民生委員の紹介・民生委委員の主な仕事。避難行動要支援車名簿・敬老会について説明し民生委員児童委員を知って貰った。 ●敬老会9月から10月 各自治会へ開催の呼びかけをし、参画・協働 ●育成委員会に参画・協働 9/23(金)おゆみ野南探検隊～スタンプの財宝を探せ～(スタンプラリー) スローガン:子どもも大人も一緒に笑顔で楽しもう 地域内で2ヶ所のポイントを持ち、ゲーム(フットボーリング)をさせる。13名参加予定。当日に向けて実行委員会に参加し、9/7 定例会後、景品の準備。『みんな 民生 委員って知ってる?』のチラシを作成し景品一緒配布予定。(民生委員・児童委員のPRをする。)</p>	<p>・各自治会にて、敬老会の開催が、年々困難になっているため、開催方向を関係機関と検討していきたい。 ・今後、【民生委員のパンフレット】を作成し、各小学校へ定期的に配布して周知していく。 気軽に相談できるきっかけづくりの構築。 (顔の見える民生委員児童委員)</p>

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
17 情報伝達体制の充実 26 見守り活動の推進	地区内住民への訪問・声かけ・情報提供の充実 一人暮らしの高齢者・高齢者世帯・高齢者のみ世帯・支援を必要とする世帯に高齢者実態調査やその他必要に応じて迅速に伝達するために訪問やチラシ等をポスティングする。 あんしんケアセンターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ●5～6月 高齢者実態調査延期のお知らせの手紙とチラシを配布。(③⑤は511地区作成チラシ) 配布物①お手紙 ②お口のエクササイズ ③身体を動かすことが減っていませんか？(パタカラ体操・フレイル予防体操) ④振り込め詐欺のチラシとシール ⑤災害時緊急情報配信サービス ⑥あんしんケアセンターのチラシ(案内) 配布人数 766人 ●7～8月 高齢者実態調査延期のお知らせの手紙とチラシを配布。(①～④は511地区発行) 配布物①手紙 ②熱中症を防ぐために ②免疫力UP(食事) ③熱中症をふせぐために ～マスクをはずしましょう～ ④レンジで簡単クッキング 配布人数 766人 ●11月 高齢者実態調査の中止のお知らせの手紙とチラシ配布。(②③は511地区発行) 配布物 ①手紙 ②災害時のために備えましょう ③通いの場に参加するための留意点 配布人数 785人 ※上記3回とも、コロナ禍で対面は余儀なくされたので、見守りも兼ねてその時の状況に応じて対象者に情報提供(ポスティング)を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ●5～6月高齢者実態調査(75歳以上)時にチラシと見守り支援事業としての安心カード(独自→市ものへ交換)配布。 内容①熱中症にならないために ②安心カード(自宅用・携帯用)70歳以上の高齢者 ③高齢者緊急通報システム・安心電話事業のご案内(一人暮らしの高齢者へ) ④あんしんケアセンターのチラシ(案内) 配布人数 1,201人(70歳以上) ※今回、3年ぶりに調査が対面でき、高齢者の状況が把握できた。困りごとを関係機関・専門機関(あんしんケアセンター等)へつなぎ、連携強化を図り見守り体制を築いていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・511地区独自のチラシを必要に応じて作成・配布し高齢者への情報提供をしていく。 ・あんしんケアセンターとの連携強化・情報交換(依頼後の高齢者の状況把握)
18 防災訓練の充実 19 緊急時の食料、医薬品等の調達供給体制づくり	避難所運営委員会に参画・協働 避難行動支援者への支援の強化・自治会との連携	避難所運営委員会に参画・協働 <ul style="list-style-type: none"> ●おゆみ野南小学校 5/29(土)5名 顔合わせ・今年度の予定説明 7/18(日)5名 備蓄備品の棚卸、施設説明等 8/29(日) 九都県市合同解説訓練中止 9/12(日) 解説訓練の反省会・マニュアル作成中止 	避難所運営委員会に運営委員として参画・協働 <ul style="list-style-type: none"> ●おゆみ野南小学校 4/24(日)4名 第一回 顔合わせ・倉庫場所の確認 6/19(日)4名 研修会(出前講座) 「自分が危険!最も多い住宅火災普段と地震時の火災対策を考えます」 7/16(土)4名 訓練内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動支援者へのサポート体制の強化・自治会との連携(個別避難計画の作成・避難行動支援者名簿の活用とマップ作り) ・今後も避難所運営委員会に参加して、自治会の方々と連携し、日頃からの情報収集や支援体制の構築・地域の防災知識の普及啓発に努めていく。 (金沢小学校の避難所運営委員会の体

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
		<p>10/24(日) 5名 避難所開設訓練 11/28(日) 5名 出前講座(勉強会) 「感染症対策を踏まえた防災対策について」 2/27(日) 4名 総括・来年度の役員選出について</p> <p>●おゆみ野南中学校 5/22(土) 2名 顔合わせ・年間スケジュールについて 7/24(土) 2名 8月の避難訓練の説明 8/29(日) 避難所開設訓練延期 11/14(日) 2名 避難所開設訓練 10/29(土)・2/10(木) 2名 執行部会議</p> <p>●金沢小学校・おゆみ野公民館 会議等に参加できなかった。</p> <p>それぞれの学区において、避難所運営委員会に参加し自治会の方々と連携し、災害時の対応について学び確認しあうことが出来て良かった。</p>	<p>8/28(土) 4名 九都県市合同開設訓練・反省会 10/15(土) 4名 棚卸と備品チェック 2/26(日) 4名 総括反省会・来年度の役員選出</p> <p>●おゆみ野南中学校 5/28(土) 2名 第一回 顔合わせ 6/19(日) 1名 南避難所運営委員会研修会参加 「自分が危険!最も多い住宅火災普段と地震時の火災対策を考えます」 7/23(土) 2名 第二回 8/28(土) 2名 九都県市合同開設訓練 10/15(土) 2名 第三回 2/予定 3名 第四回</p> <p>●金沢小学校 8/28(土) 5名 九都県市合同開設訓練 2/予定 5名</p>	<p>制づくりに協力)</p> <p>・緊急時意識啓発 (家庭・地域住民へ)</p>
<p>21 身近な防犯、安全対策</p>	<p>地区内の小・中学校との校長先生との懇親会・情報交換会と昔遊び(授業)の指導協力 おゆみ野南小、金沢小、おゆみ野南中学校と連携を密にし、情報を共有し合い相談事も丁寧に受け見守りをする。</p> <p>朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施</p>	<p>【小・中学校との校長との懇親会】 6/9(水) 緑保健福祉センターにて定例会後、開催 小・中学校との校長と民生委員 16名 小・中学校の概要を聞くとともに、民生委員の活動について説明をした。</p> <p>【担当区域の小・中学校との情報交換会】 7/7(水) おゆみ野南小 7名、7/14(水) 金沢小 7名、7/26(月) おゆみ野南中にて 13名(民生委員・主任児童委員出席) 見守り、支援が必要な児童の事例をあげて頂き、情報の共有化を図った。担当地域の情報が分かり見守り体制の強化が出来た。</p> <p>【朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施】 学区内を担当区域別に6カ所に分かれ、朝のあいさつ運動・夕方のパトロールを実施した。 時間帯・・・登校時・下校時・買い物時 実施期間・・・毎日又は第2の週1週間 あいさつ運動をすることで、子ども達と触れ合うことが出来、子ども達の様子も伺うことが出来た。</p>	<p>【小・中学校との校長との懇親会】 6/8(水) 緑保健福祉センターにて定例会後、開催 小・中学校との校長と民生委員 15名 民生委員児童委員の活動について説明をした。</p> <p>【担当区域の小・中学校との情報交換会】 6/28(月) 金沢小 6名(1名オンラインにて参加)、7/8(金) おゆみ野南小 7名、6/14(木) おゆみ野南中 12名(民生委員・主任児童委員出席) 校長・教頭その他・教務主任との(おゆみ野南小・中)と情報交換をすることでより見守りの強化が図れた。</p> <p>【朝のあいさつ運動・夕方のパトロール実施】 各自、担当区域別に6カ所に分かれ、朝のあいさつ運動・夕方のパトロールを実施。セーフティウォッチャーに登録。 時間帯・・・登校時・下校時・買い物時 実施期間・・・毎日又は第2の週1週間</p>	<p>【小・中学校との校長との懇親会】 引き続き、民生委員児童委員の活動について理解をしてもらう。</p> <p>【担当区域の小・中学校との情報交換会】 今後も継続して学校との情報交換会を行っていく予定だが、より身近な教務主任との情報交換も継続していきたい。</p> <p>朝の挨拶運動・夕方のパトロール実施】 安心安全なまちづくりを目指していく。登校時、遅く行く子どもに対しての声かけをし、遅刻しないように促していく。</p>

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
		【昔遊び】 毎年、総合授業の一環で金沢小・おゆみ野南小の新1年生の児童を対象に昔遊びの依頼があったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止。 おゆみ野南フェスティバル(昔あそび)も中止。	【昔遊び】 新型コロナウイルスの感染状況により、学校からの依頼によっては、できる範囲で参加協力をする。	【昔遊び】 昔遊びを指導する高齢者が減少しつつある。自治会・他団体の等と連携し指導者の確保に努めたい。 回覧版等で、募集をかける。
31 ボランティアの確保	新たな担い手の確保 (欠員がないようにする。) 民生委員活動をする中で、新たな担い手を確保していく仕組みづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 欠員に対して、民生委員内の情報や他団体(自治会・育成・地域の団体)にお願いし、早急に確保に努めたが、欠員が見つからなかった。 年度末に、民生委員のチラシを作成し、他団体等に配布し確保に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 永年、欠員だった2名が6月に確保できた。 	今後、11月退任1名の「担い手」の確保・PR強化。 民生委員児童委員の活動内容だけでなく、その意義を伝え、活動を正しく理解して貰えるように自治会・諸団体等に働きかけをする。 おゆみ野地区部会広報紙へ民生委員のPRを寄稿
8 家庭や地域の文化・歴史の伝承と発展	小学校学区における敬老会開催実施(新規)		各自治会にて、敬老会の開催が、年々困難になっているため、自治会と連携し小学校区ごとに開催できないか検討。方向性を見つけ、関係機関へ相談を行い計画を策定する。 場所：金沢小学校・おゆみ野南小学校の体育館 時期：9月～10月頃 対象：75歳以上の高齢者 内容：検討中(子ども達とのふれあい他)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議(自治会・学校・行政)と連携 学校区内において、高齢者同士が顔見知りになり、話し相手が出来ると関係の構築。(高齢者の孤立防止していく) 高齢者の自治会離れを防ぐ必要がある。
12 地域活動の場の確保	地域活動の場の確保(新規)		関係機関との協議	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者・子ども達の居場所づくり おゆみ野南地区には公共施設がないため、高齢者や子どもが集う場がない。それにより、地域、人と人とのつながりの希薄化が生じている。市に既存施設の空きスペース(空き家)や公共施設の提供(場を借り上げ)をお願いしたい。 平日、休日の学校の空き部屋の利用の可の希望。

取組項目 <small>(31の具体的な取組みの番号と取組み名)</small>	取組の概要	R3年度取組状況 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	R4年度計画 <small>(いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</small>	今後の課題
25 外出困難者への支援	外出困難者への支援のアンケート調査 高齢者より買い物等に行くのに大変との声があり、生活コーディネーターの協力を得ておゆみ野地区全体の実情を把握する。		<ul style="list-style-type: none"> ・外出(買い物・通院)に関するアンケートをおゆみ野全域(502, 508, 511地区)で聞き取り調査をした。 いつ・・・5～6月の高齢者実態調査時 対象・・・75歳以上の高齢者 実施人数・・・" 833人(686世帯)中 530世帯実施 生活コーディネーターの協力得て結果をまとめる。 ※近隣にスーパーやドラッグストアがあるせいか、思ったほど買い物には不便さを感じていないことが分かった。 また、かかりつけの通院に関しても、不便さを感じていない人が多かった。両方とも「健康のために歩こう」という意識を持っている方が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活コーディネーターの協力を得て、おゆみ野全域の結果を分析し実情を把握する。 課題解決に向けて検討。 <p>(今後要望) →関係機関と協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のバスの本数を増やして欲しい。 ・おゆみ野駅から中央病院行きのバスの運行 ・主となる道路(おゆみ野全域)を循環するバスがあると良い。 ・高齢者に割引等のバスやタクシー券の配布して貰えないか?

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
28 地域の課題解決に向けた連携	・地域課題についての講演会	取組みなし	日時：R4.6.4 場所：おゆみ野ふれあい館 講座：「あんしんケアセンターの役割とおゆみ野地区の高齢者の現状」 回数：1回 人数：18名	健康上の課題や貧困といった課題だけでなく、身寄りのない独居高齢者、8050問題、認知症、精神疾患等、更にはそれらが複合的な課題となっている事案も増えている。今後も多職種・他機関との連携を図りながら、地域課題に取り組み解決する手段を検討していく必要がある。 また、引き続き高齢者自身がある程度健康なうちから、自分の今後の生活を考え、自主的に取り組めるよう支援していく必要がある。
30 自宅療養中の家族がいる家庭への支援	・総合相談支援業務 ・認知症サポーター養成講座	日時：日曜・祝日を除く9:00~17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：2516（うち新規736件） 日時：R3.1.29 場所：緑保健センター2階大会議室 講座：認知症サポーター養成講座 回数：まん延防止等重点措置のため中止 人数：11名	日時：日曜・祝日を除く9:00~17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：未定 令和4年度開催未定。	介護保険サービス利用に繋がる以前から疾病や老化による生活上の悩みを抱えている家族は多い。あんしんケアセンターの存在を知らない方もまだまだ多いため、今後も周知活動を続けていく必要がある。 認知症サポーター養成講座自体、コロナ禍で対面開催が難しい。オンライン開催など別の手段を検討していく必要がある。
31 ボランティアの確保	・総合相談支援業務	日時：日曜・祝日を除く9:00~17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：正確な相談件数は把握していないが、ボランティア希望者や地域活動主催者数名に対し、必要と思われる情報提供を行った。	日時：日曜・祝日を除く9:00~17:00 場所：千葉市あんしんケアセンター鎌取 業務：総合相談（窓口・電話・訪問） 回数：未定だが、相談者に対し必要な情報提供及び支援を行う。	ボランティア希望者に対しては、社会福祉協議会を案内することが多いが、地域のサロンや認知症カフェ主催者等と日頃より連携を図りながら、ボランティア受け入れについての体制を整備し、社会貢献しやすい環境づくりも必要と考えられる。 鎌取は生活支援コーディネーター未配置であるが、第一層の生活支援コーディネーターと連携を図りつつ対応していく。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
1 情報の収集と共有化	・ 広報誌の発行	地区部会設立前のため活動なし	・ 広報誌の発行 年2回発行し地域情報を発信する。	・ 8月に第一号を発行し今後、定期的に発行する。
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	・ いきいきサロンの実施	地区部会設立前のため活動なし	・ いきいきサロン 鎌取団地（週1回） 平山第一自治会（週1回） （町内自治会のシニアクラブと連携して実施）	・ 他の町内自治会も実施できないか検討
4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供	・ 障害者、障害者施設に関する学習会の実施	地区部会設立前のため活動なし	・ 障害者に関する学習会を開催し、理解を深める。 ・ 障害者施設の訪問し、障害者理解を深める。（コロナの状況による。）	・ コロナが落ち着いたら実施し出来る様検討
5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充	・ 子育てサロンの実施	地区部会設立前のため活動なし	・ 子育てサロン 保健福祉センター（月1回）	
26 見守り活動の推進	・ 地区連協と連携した見守り活動の推進	地区部会設立前のため活動なし	・ 訪問や外からのさりげない見守りを実施 （平山第一・鎌取・辺田・平山）	
31 ボランティアの確保	・ ボランティア活動に関する啓発活動	地区部会設立前のため活動なし	・ 町内会の回覧板でのボランティア募集	・ 高齢化が進みボランティアの確保が年々厳しくなる。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
6 地域と学校との交流	平山小学校のセーフティウォッチャーを実施。	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施。	毎週持ち回りで登下校時の見守りを実施。	
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ 8 家庭や地域の文化・歴史の伝承と発展 11 町内自治会の活性化	・シニアクラブ（自治会の老人会）に地域行事への参加を呼び掛ける。 ・地域活動を通じて町内自治会への参加を呼び掛ける。	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り	餅つき大会 花いっぱい運動 毎月ゴミ拾い 盆踊り・お祭り	
14 家庭における意識啓発 15 地域における意識啓発 16 災害時避難誘導體制の充実 17 情報伝達体制の充実	避難所運営委員会での防災訓練の実施を通じて、意識啓発や避難誘導體制、情報伝達体制の充実を図る。	令和3年9月 防災訓練実施	令和4年9月 防災訓練実施	
21 身近な防犯、安全対策	防犯青色パトロールの実施	月4回9町内自治会の防犯パトロールを実施	月4回9町内自治会の防犯パトロールを実施	
23 集会所等施設の活用と情報共有	①地区内町内自治会の定例会を開催 ②各単位町内会の役員が会議を開催し、回覧板の回議等について協議。	①2月に1回定例会を開催。 ②毎月会議を開催。	①2月に1回定例会を開催。 ②毎月会議を開催。	
26 見守り活動の推進	地区部会と連携した見守り活動の推進（各単位町内会で75歳以上単身高齢者宅を訪問。）	コロナのため活動休止中。	コロナのため活動休止中。	

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
<p>1 情報の収集と共有化</p> <p>2 子ども達の集いの場の提供・情報提供</p> <p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>4 障がい者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供</p> <p>5 子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充</p>	<p>1 平山地区部会の広報紙「ネットワークふれあいニュース」を年2回、発行する。各専門委員会の活動状況を知らせる。(回覧板) 地域イベントの紹介。交流を図る支援。</p> <p>2-①平山小学校との情報交換を実施する。501・508地区の情報交換を実施する。</p> <p>2-②誉田・平山地区(501・506・507)の幼稚園、保育園の園長との連絡会議を実施し、連携を深める。</p> <p>3 平山地区部会「ふれあいいいきサロン」への更なる支援活動を実施する。</p> <p>4 平山地区部会 障がい者を理解するための学習会を開催したり、共に行事に参画して更なる支援活動をする。</p> <p>5-①子育てサロンへの協力</p> <p>5-②平山地区部会「ふれあい子育てサロン」への更なる支援活動を実施する。</p>	<p>1 誉田地区部会として、「ネットワークふれあいニュース」を年2回、発行した。(7・12月) 編集会議 年8回(5~12月 15名) 誉田公館</p> <p>2-①コロナ感染症予防のため、平山小学校との情報交換は中止になった。</p> <p>2-②501・508地区の情報交換会は、平山小・有吉小・扇田小の校長も参加して児童の様子を確認できた。(8月 実施)</p> <p>3 高齢者福祉委員会は、誉田公民館で誉田地区サロン、保健センターで平山地区サロンを4回 実施したが、鎌取コミュニティ祭りは中止になった。</p> <p>4 障がい者福祉委員会は、しいのみ園等で3回 実施し、5施設に慰問品を贈呈した。</p> <p>5-①誉田地区部会から平山地区部会の移行期だったが、協働で子育てサロンの運営を行った。主任児童委員が中心で民生委員・児童委員OGと地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行った。子育てサロンへの協力も行った。(全10回中 2回実施)</p> <p>5-②コロナ感染症予防のため、子育てに関する相談やアドバイスがあまりできなかった。</p>	<p>●福祉ネットワーク委員会は、「ネットワークふれあいニュース」を年2回、発行する。(7・12月) 編集会議 年6回(6~8月、10~12月 8名)</p> <p>●平山地区部会と協働で子育てサロンの運営を行う。</p> <p>●主任児童委員が中心で民生委員・児童委員OGと地域協力員で実施し、子育てに関するアドバイスを行う。</p> <p>●子育てサロンへの協力を行う。(年10回 4月~7月、9月~2月)</p> <p>●平山小学校と民生・児童委員の会議を開き、子ども達を理解し見守る。(平山小図書室 8月 実施 12名)</p> <p>●501・508地区の情報交換会は、平山小・有吉小・扇田小の校長も参加して児童の様子を確認できた。(8月 実施)</p> <p>●高齢者福祉委員会は、「ふれあいいいきサロン」を保健センターでけやき園・緑苑の施設長も加わり8名で実施する。</p> <p>●高齢者福祉委員会企画の行事を入れ、保健センターで町内役員と共に、主に支え合いを中心に活動する。</p> <p>●障がい者福祉委員会は、障がい者を理解するための学習会、施設訪問を通して、共に行事に参加して活動をする。</p>	<p>○子育てサロンへの協力</p> <p>○新興住宅地が増え、参加者が広範囲から来るようになった。</p> <p>○乳児が増えたことによって母親同士の情報交換があまり出来なかった等が課題であった。</p> <p>○幼稚園・保育園・小学校との連携がとれると地域の子育て家庭への支援をさらに充実していけると思われる。</p> <p>○今年から、平山地区のみの活動となるので、スタッフ不足も問題であり、今後は他団体との連携等も検討していきたい。</p> <p>○平山地区部会は、令和4年度からの発足であり、地域に合う計画を立てるための各専門部会は、まだまだ模索中であり、1年間実施してみても方向性を見極めていきたい。</p>

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>12 関係機関との連携 16 災害時避難誘導體制の充実 18 防災訓練の充実 19 緊急時の食料・医薬品等の調達、供給体制作り 21 身近な防犯・安全対策</p>	<p>12-16-18-19 ①災害時の平山小避難所開設訓練に向けての運営委員会を開催する。 ②体制を充実させる。 21-①有吉中学校のあいさつ運動への協力。 21-②有吉中学校の環境整備の協力。 (5月・10月 花植え)</p>	<p>12-16-18-19 平山小(図書室・体育館)で避難所の運営方法を話し合い、訓練し緊急時の物品の確認をする。(年2回 8・9月) 運営委員(各町内会役員・民生委員 20名) 21-①508 地区民児協と連携し、有吉中学校のあいさつ運動を行った。 ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜～金曜の平日5日間をあいさつ運動として、通年(夏休みを除く)実施する。 (R3)2020年4月～(R4)2021年3月 21-②有吉中学校の環境整備(5月・10月 花植え) 防犯対策として花を植える事により、町を明るく景観をよくする。</p>	<p>●平山小(図書室・体育館)で避難所の運営方法を話し合い、訓練し緊急時の物品の確認をする。(年2回 8月・9月) 運営委員(各町内役員・民生委員 20名) ●508 地区民児協と連携し、有吉中学校のあいさつ運動を行う。(有吉中正門 他) ※緑区の理事会(月曜日)の翌週の月曜～金曜の平日5日間をあいさつ運動として、通年(夏休みを除く)実施している。 7:50～8:10 実施予定 (R4)2021年4月～(R5)2022年3月 ●有吉中学校の環境整備(5月・10月 花植え) 防犯対策として花を植える事により、町を明るく景観をよくする。</p>	<p>○有吉中学校の挨拶運動は、508 地区民児協と連携して活動できた。 ○生徒が声を出して挨拶をするようになってきた。 ○学校の先生や 508 地区民児協との横の繋がりが深まった。 ○避難者行動要支援名簿は、毎年配布されているが、災害時に機能できるのかは疑問である。</p>
<p>26 見守り活動の推進</p>	<p>26-①単身世帯高齢者の見守り活動の実施 例年実施している高齢者の実態調査を するとともに単身世帯高齢者の見守り 活動を行う。 26-②地区の見守り活動団体との連携 地域で活動している見守り活動団体 への協力を行う。</p>	<p>26-①令和3年度は、コロナ感染症予防のため、高齢者の実態調査は中止となり、あまり他の活動ができなかった。 令和3年度の平山地区敬老会は中止になった。敬老会中止の手紙の配布。(7月) 中止に伴うお祝い品のタオル・マスクの配布。(ポスティング 9月 各町内役員) 26-②地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施。 見守り活動は、保健センター・公民館で民生委員・町内役員・ボランティア・社協・あんしんケアセンター等と共に会議のみ実施。(10名 前後) 【民生委員の活動として】 ●高齢者宅へ手紙形式の書面を2回ポスティング。(5・2月) ●敬老祝い金・品の配布をした。(9月)</p>	<p>●令和4年度は、高齢者実態調査(5・6月) 敬老会中止のお知らせ(7月) 平山地区敬老会実行委員会による中止に伴うお祝い品のタオル配布 (ポスティング 9月 各町内役員 25名) ●地区の見守り活動団体の定例会に参加し、情報共有やアドバイスを実施する。 ●保健センター・公民館で民生委員・町内役員・ボランティア・社協・あんしんケアセンター等と共に会議をし月1回程度、単身高齢者世帯の見守りを行う。(5・7・12・2月) ●敬老祝い金・品を配布する。</p>	<p>○見守り活動団体が行っている活動は、高齢者からも喜ばれている。 ○2ヶ月に1回程開催される各団体の定例会議には、民生委員が参加し、情報交換を行ってきた。 ○見守り活動はボランティアの高齢化の問題も出てきており、若い世代の取り込みが課題である。 ○外出困難者・自宅療養中の家族・障がい者(児)の家族等の支援については、支援の手が行き届いておらず、何も確立されていない。特に家族のみに負担がかかるため、地域での早急な取り組みが必要であるように思われる。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場において資源調査およびヒアリング調査を行う。 ・活動場所を訪問し、活動状況を把握する。 ・随時、必要な情報提供を行う。 ・地域活動における活性化のための支援を行う。 ・新しい活動の立ち上げ支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021.6～12 集いの場において資源調査・ヒアリング調査を行い、状況および課題を把握した。必要に応じて情報提供を行った。 ・2021.11 マックスバリュおゆみ野店カフェデザインにおいて、シニアリーダー体操を主としたおゆみ野南シニアサロンが活動を開始。 ・2022.3 集いの場運営者に出張講座を紹介し、講座開催につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源調査・ヒアリング調査を行い、訪問等により、状況および課題の把握を行う。 ・随時、情報提供を行う。 ・コロナ禍で活動に制限がかかる中での、活性化支援を行う。 ・2022.5 土気地区部会なかの台サロン、2022.6 おゆみ野地区部会いきいきサロンにて、出張講座が開催された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍で、活動を終了する団体がみられる状況があり、継続できるように、各団体の活動状況および課題の把握に努め、支援を行う。 ・地域活動における活性化のための支援を行う。 ・新しい活動の立ち上げ（担い手の発掘）支援を行う。
12 地域活動の場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・団体等による活動場所の提供に関する情報を把握し、地域にて周知を行う。 ・提供スペースの有効活用事例を周知する。 ・新たな活用方法の提案をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マックスバリュおゆみ野店より、地域貢献として活動スペースの提供があり、活用方法や周知方法等について担当者と打ち合わせを行った。 ・地域住民に、提供スペースの紹介および活用方法を提案し、新たなサロンが立ち上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、提供スペースについて地域で周知するとともに、活用の提案をする。 ・新たな活動場所となるスペースの発掘、把握に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マックスバリュおゆみ野店カフェデザインスペースにおける新たな活用の提案をする。 ・新たな活動場所の発掘に努める。
27 健康づくり支援	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアリーダー養成講座にて、講義「地域のささえあいづくりを支援 生活支援コーディネーター」（生活支援コーディネーターの役割・シニアリーダーとの具体的な関わり・地域活動等）を担当する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021.8、2021.12 シニアリーダー養成講座にて、講義「地域のささえあいづくりを支援 生活支援コーディネーター」を担当した。 ・シニアリーダー連絡会に出席し、各教室の活動状況および課題を把握した。 ・シニアリーダー体操教室を訪問し、各教室の状況を把握した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022.8 シニアリーダー養成講座にて講義「地域のささえあいづくりを支援 生活支援コーディネーター」を担当した。次回は2022.12の予定。 ・シニアリーダー連絡会に出席し、各教室の活動状況および課題を把握する。 ・シニアリーダー体操教室を訪問し、各教室の状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアリーダー養成講座開催の周知をし、受講に繋げる。 ・講座修了後、地域活動に繋げるサポートをする。 ・シニアリーダー高齢化もあり、次世代のシニアリーダーの育成を支援する。
25 外出困難者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の移動手段に関わる状況や課題把握をする。 ・買い物困難者への支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の移動手段に関わる課題について、あんしんケアセンターおよび地域支援者と情報を共有した。 ・買い物手段に関する課題がある地域へ移動販売について情報提供を行った。 ・移動販売拠点を訪問し、状況把握を行った。 ・移動販売業者より話を伺い、現状および今後の見通しについて把握をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おゆみ野地区にて、高齢者実態調査時に民生委員による移動についてのアンケート調査への協力し、地域課題に取り組む。 ・集いの場等にて、地域での移動に関わる課題について情報収集を行う。 ・買い物手段に関する情報提供を行う。 ・移動販売に関する情報提供を行う。 ・移動販売業者より話を伺い、状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売以外の買い物手段の情報収集および情報提供を行う。 ・自治会や民生委員などの地域支援者と連携し、地域課題に取り組む。

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
10 老人クラブの活性化 27 健康づくり支援	1 活動促進事業 ①指導者研修会（2回：65名予定） ②役員研修会（県外研修） ③女性委員会研修会（2回を予定） ④老人クラブと子供会育成交流会	①コロナ禍により、2回27名だけに縮小して開催 ②当初の研修会は中止・内容変更し14名で勉強会実施 ③友愛活動等2回で24名参加 ④児童不参加のため他の屋外行事に変更ウォーキングを3回実施し128名参加	①2回で50名参加予定 ②1回で2名参加予定 ③2回で30名参加予定 ④3回で120名参加予定	①コロナと会場の関係で流動的である ②予定通り実施の見込み ③予定通り実施の見込み ④コロナの状況で変更も十分あり
	2 健康づくり・介護予防支援事業 ①グラウンドゴルフ大会（6回の予定） ②ワナゲ&ダーツ大会（6回の予定） ③ゲートボール大会（2回の予定） ④ノルディック・ウォーク（1回の予定） ⑤パークゴルフ大会（3回の予定）	①3地区で5回開催し184名が参加 ②3地区で5回開催し216名が参加 ③予定通り2回開催し45名が参加 ④予定通り1回開催し40名参加 ⑤予定通り3回開催し82名が参加	①3地区で6回開催240名参加予定 ②3地区で5回開催260名参加予定 ③2回開催45名参加予定 ④1回開催45名参加予定 ⑤3回開催100名参加予定	9月現在の状況では、全て予定通り消化する予定である。人数の変動はあるものと考えている。
	3 地域支え合い事業 ①「社会奉仕の日」活動（9月実施）	①予定通り実施し150名が参加	①毎年9月実施で150名参加予定	①予定通り実施する
	4 活動支援体制強化事業 ①芸能大会（10月31日予定） ②料理教室（3回を予定） ③活動展資料作成 ④自立体力測定	①コロナの三密対策クリアできず中止 ②内容を変更して2回開催、40名参加 ③3回開催し21名参加 ④6クラブで65名が参加	①規模を縮小し100名参加で計画 ②3回開催で50名参加予定 ③3回で20名参加予定 ④6回で60名参加予定	①練習不足と条件に合う会場確保ができず今年も中止と決定 ②前年同様内容を工夫して実施予定 ③予定通り実施 ④予定通り実施の見込み

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供	(おゆみ野グランドゴルフ) 会員募集中、年齢制限なし、どなたでも 会員31名(男子17名、女子14名)	R3年コロナで休会の月が3カ月あり練習が不足 桜公園、春の道公園で週3回(月木金)月に12回8:30から11:00 月会費1000円	R3年度と同様に開催予定	安心、安全、元気にすごす。
21 身近な防犯、安全対策	自主防犯パトロールをすることにより犯罪、事故、災害などを未然に防止する。	毎週月曜日(小学校長期休み、祝日、雨天は中止)みずき・かつら街町内パトロール、27回 毎回6名前後	R3年度と同様に開催予定、30回前後を予定、退職者でメンバーを構成6名	退職者6名がボランティアで行っているパトロールですが、町内自治会へのPR不足。パトロール隊の参加人数を増やすこと。増えれば週二回実施したい。
24 助け合い活動の推進	(みずき・かつら街おたすけ隊) みずき・かつら街自治会内の高齢化が進み、日常生活に必要な支援を行っている。 活動内容・庭の手入れ、樹木の剪定、伐採、網戸・障子の張替え、簡単な電気工事、その他上記に準ずる作業	(自治会内対象) ・樹木の剪定(6/2.12/4) 5~6名、計3時間半 ・庭の手入れ(7/17) 6名、90分 ・垣根&庭の手入れ(8/21.9/25.10/23.10/30) 6~8名、計9時間半 ・垣根の手入れ(10/7) 4名、1時間 ・防錆剤散布(11/20) 5名、1時間半 ・家具の搬出(2/23) 5人、1時間 ・網戸の張替え(3/19) 6名、2時間半	(自治会内対象) ・垣根・庭の手入れ(6/4.6/18.6/25.7/2) 8~9名、9時間半 ・庭の手入れ(6/11) 5名1時間半 ・今後の計画 9月から3月 ・垣根・庭の手入れ、 各6名で2時間の予定	おたすけ隊協力員の高齢化が進み、後継手の募集と育成が必要。

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>3 高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供</p>	<p>・高齢者が集う場の開設 「すいようカフェ」 多世代の交流とくつろぎを大切にしながら、情報提供やひとりひとりにあった体操や語り合いなど参加者同士が支え合う居場所 ・地域の高齢者が集う場をキャッチし参加者にお知らせする。 ①すいようカフェ以外の高齢者の集いの場 ②歌の広場などの情報提供</p>	<p>毎週水曜日、 11時から15時 みんなの広場 すいようカフェ 参加者 おおむね5名から20名 情報をカフェの場でお知らせ 1 2～3か所集いの場の情報提供 1 1～2団体活動紹介 *概ねカフェの参加者20名くらい 年に2～3回</p>	<p>R3年度と同様に実施</p>	<p>すいようカフェの広場 足の不自由な高齢者が参加できる方法の検討</p>
<p>7 地域行事への積極的参加の呼びかけ</p>	<p>・地域行事の文化祭やお祭りなどのお知らせをし、参加を呼び掛ける。</p>	<p>情報入手次第カフェの場でお知らせ ・まちカフェ、ふれあい市まつり、おゆみ野文化祭、鎌取CCセンター祭りなどのお知らせ *情報入手次第、概ねカフェの参加者にお知らせし参加を呼びかける。</p>	<p>R3年度と同様に開催</p>	
<p>8 家庭や地域の文化・歴史の伝承と発展</p>	<p>・毎年夏におゆみ野女性の会主催の「戦争体験を語る会」開催</p>	<p>2021年7月28日 すいようカフェの場で「戦争体験を語る会」をおゆみ野女性の会と共催で開催 参加者20名</p>	<p>2022年10月ごろを予定 すいようカフェの場で「戦争体験を語る会」をおゆみ野女性の会と共催で開催予定 参加者約20名</p>	
<p>14 家庭における意識啓発</p>	<p>災害が起こるたびに入手した情報をすいようカフェの場で伝え災害に関する意識啓発を行う</p>	<p>千葉市が作成したハザードマップを見ながら各自自宅の安全確認をするとともに、台風被害にあった方から被害について伺い各自の防災意識を高める 参加者17名</p>	<p>R3年度と同様に開催 参加者18名</p>	
<p>21 身近な防犯、安全対策</p>	<p>千葉市消費生活センターの「ちばし消費者応援団」として活動</p>	<p>千葉市消費生活センターから隔月送られてくる「暮らしの情報 いずみ」を参加者に配布し、消費生活トラブルに巻き込まれないよう伝える。 年6回 毎回参加者概ね15名</p>	<p>R3年度と同様に開催 年6回 参加者も同様</p>	
<p>26 見守り活動の推進</p>	<p>すいようカフェの参加者がお休みが続くような場合、カフェのボランティアによる電話かけや自宅訪問</p>	<p>毎回のように参加される方のお休みが続いた場合やコロナ禍で緊急にカフェをお休みをすることになったとき、ボランティアスタッフなどが手分けして参加者の方々に連絡をとるとともに、生活の様子をうかがう。</p>	<p>R3年度と同様に開催予定</p>	<p>緊急連絡網の作成</p>

<p>取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)</p>	<p>取組の概要</p>	<p>R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)</p>	<p>今後の課題</p>
<p>27 健康づくり支援</p>	<p>鎌取イオンにある「あんしんケアセンター鎌取」の方や訪問看護ステーションの方々に来所していただき、情報提供をしてもらう</p>	<p>・あんしんケアセンター鎌取 6/7, 7/14, 11/10 参加者 15名</p>	<p>・あんしんケアセンター鎌取 5/11, 参加者 15名、他計画あり ・訪問看護ステーション なごみ 今年度も開催予定</p>	
<p>31 ボランティアの確保</p>	<p>ボランティアスタッフの確保のためすいようカフェの活動を紹介</p>	<p>千葉県地域づくり大学校の受講生の方に、すいようカフェをボランティア見学会や実習の場として提供 実習生 4名</p>	<p>R3年度と同様に開催予定</p>	
<p>3 高齢者が集う場の開設・ 拡充・情報提供 12 地域活動の場の確保 27 健康づくり支援</p>	<p>超高齢化社会の2025年問題に於ける地域課題に取り組む為、自治会の皆様が住み馴れた地域で、健康向上、介護予防、認知症予防の実践場とし、シニア世代の志向の多様性に対応する居場所を作ります。 筋トレ・脳トレ・口腔トレ体操教室を展開します。前半は、シニアリーダー・いきいき・脳トレ・コアトレ・ラジオ・口腔体操を行う。 後半は、健康歌会、折り紙、小物づくり、ポッチャ、ビンゴなどのお楽しみ会で笑顔満開の脳トレです。</p>	<p>毎週水曜日に開催 みずき・かつら街管理集会場にて 「花みずき・いきいきサロン」教室として開催 月に4回、年に48回 1回に12名前後、年間570人参加 コロナ渦の影響で、以前の4割ほどの参加でした。</p>	<p>R3年度同様に開催</p>	<p>コロナ感染対策をさらに周知して参加者を増やす。 集会所でズームソフトを使用してオンライン発信を始めているので、種々の事情で会場に来れない人も取り込んでいく。 教室開催の担い手の若返り化、増員に努めていく。 地域活性化活動を理解して頂き活動費用の支援者を増やしたい。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供	<p>ア 例会</p> <p>イ おしゃべり会の実施</p> <p>ウ 会報「千南会」の発行</p> <p>エ 拡大例会（講演会）の実施</p>	<p>コロナ禍の厳しい環境は相変わらずで収束の目途は立っていない。昨年の経験を踏まえ所定の対策をとって活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/17 8人 新年度活動計画、「話し合い」 ・5/14 総会（書面決議） ・6/19 6人 「ビデオ鑑賞」色々応用できる認知行動療法 ・7/17 6人 「話し合い」 困っていることなんでも ・9/18 5人 「話し合い」 ご自分の課題解決 ・10/16 11人 「話し合い」 我が子への接し方 ・R4.1/15（新年会） 2/19 緑保健センター ボランティア室 及び 大会議室 3/19 コロナ禍により休会 <p>実施せず</p> <p>会報「千南会」第19号9月1日発行</p> <p>会報「千南会」第20号R4.3月15日発行</p> <p>11/20（土）講演会 「医療と生活支援が自宅にやってくる～鎌谷ACT-Ailの取り組み～」 講師 チームリーダー 香取 牧子氏 ・31人出席 ・緑保健センター大会議室 ・親亡き後ACTは大きな支援になることを確認した。</p>	<p>まん延防止等重点措置の再延長解除も行われ、家族会活動を元に戻していく場所 緑保健福祉センター ボランティア室及び 大会議室</p> <p>内容 ・就労活動や重い症状の家族にも対応していく・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の千葉市の構築状況を聞く（鎌取支援センター緑）</p> <p>・現在まとめつつある「みんなねっとの医療・福祉についての提言」の勉強会を行い、内容を上記ケアシステムに友映できればと考えている。</p> <p>回数 4/16 5/21 総会（書面決議）6/18 7/16 9/17 10/15 12/10 R5.1/21 2/18 3/18</p> <p>機会をみつけ実施していく</p> <p>会報「千南会」第21号9月発行予定</p> <p>会報「千南会」第22号R5.3月発行予定</p> <p>11/19（土）講演会 「オープンダイアログについて実践」 千葉県精神保健センター石川真紀先生 「オープンダイアログ」について踏み込み我が子に接する姿勢作りに役立てる。</p>	<p>会員の高齢化により会長のなり手が無い。組織をいかに強化していくか。</p> <p>身近なところに手ごろな場所を見つけない。</p> <p>会員外の特に引きこもり家族にも活用できる情報誌としたい。</p> <p>講演会のオンライン化ができないか。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
6 地域と学校との交流	ア 学校と施設の交流小委員会事業	コロナ情勢から計画すること適わず。	小委員会での計画は今後。 R4年6月23日に、土気公民館と生涯学習センターとときわ園をつなぎ、公民館とセンターに職場体験中の中学生6名とデイサービスの利用者とのオンライン交流会を開催。中学生から若いころのことを尋ねられて、ご参加の高齢者には自然と回想訓練の機会となった様子であった。	オンラインでできることを各機関とつながりながら模索する。
7 地域の行事への積極的参加の呼びかけ	ア わくわく食事会の開催	コロナ情勢から計画すること適わず。	9月末日現在で見送るかと思われるが、もしお声がかかれば積極的に協力させていただきたい。	地域とのつながりについて取組項目も含めて検討する必要があるかもしれない。
	イ 土気地区部会ふれあい食事会への管理栄養士派遣	コロナ情勢から計画不能となった。	見送りと思われるが、もしお声がかかれば積極的に協力させていただきたい。	地域とのつながりについて取組項目も含めて検討する必要があるかもしれない。
19 緊急時の食料、医薬品等の調達、供給体制づくり		BCPの仕組みづくりとして、Bossシステムを導入しているが、東京大学生産技術研究所沼田研究室（防災プロセス工学）との共同で実証実験訓練を行った。R3年10月29日（金）、東大6名、ときわ園14名が集まり、システムを参照しながら、指揮役割分担を行った。その後も研究論文への協力や、オンラインで開かれる研究室が学会等に担当者が定期的に参加するなど、交流・連携が続いている。	前年度に引き続き生産技術研究所との連携を継続する。 また、行政が企画する福祉的避難所の防災訓練などが開催されれば、積極的に参加する。	

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数等)	今後の課題
4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供	<p>ア 長期入院患者の地域生活に向けた支援</p> <p>イ 就労支援事業で製造したパンを店舗販売、外販、納品をすることで、障害者の生活や活動に関する認識を広める活動</p> <p>ウ 地域の行事への参加を通して、障害者と市民の交流を図る活動</p> <p>エ 当法人が開催する行事を市民向けに開放し、障害者と市民の交流を図る活動</p> <p>オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業並びに構築支援事業（千葉県より受託）</p>	<p>ア 通年で、主に下総精神医療センターと石郷岡病院の、長期入院者の地域移行支援（＝退院支援）、年間で24名の退院支援を行い、うち17名が退院できた。</p> <p>イ 店舗販売は、ワークショップ鎌取内のページブル鎌取店として。外販は、緑区役所（週1回）緑保健福祉センター（週1回程度）、下総精神医療センター（週1回）、リべるたす（週1回）、アビタシオン（週1回）、マリア幼稚園（幼稚園の希望日）、ペリエ千葉（週2～3回）、県庁（月1～2回）。納品は、こども病院、青葉病院、菅田ゴルフ（週5日）</p> <p>ウ 参加せず（コロナ感染対策として）</p> <p>エ 実施せず（コロナ感染対策として）</p> <p>オ 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業は、連携会議（四方田、山岡）、進め隊（末永）（地域移行支援実践等分科会）、広め隊（靱山）（普及啓発活動・一般市民向け等研修会開催分科会）、深め隊（ピアサポート（精神障害者当事者による精神障害者支援）活動普及啓発分科会）を実施。同構築支援事業は、地域密着アドバイザー（山岡）（当事業の普及啓発や活動推進に関するアドバイザー）と、構築推進サポーター（末永）（地域移行支援のOJT（経験者であるサポーターが、未経験の一般相談支援事業所の職員に実際の地域移行支援を共に行う））。</p>	<p>R3年度取組状況の通り。R4年度も継続して取り組む計画。各項目のうち、R4年度の特記事項を以下に記す。</p> <p>ア は30名の地域移行支援（退院支援）を目標とする。</p> <p>イ のうち外販先に関して。かつてお世話になっていた千葉リハビリテーションセンターがコロナ感染対策で外販できずにいるが、年度中か次期の外販再開を期待している。</p> <p>ウ 今年度も感染対策は継続中。</p> <p>エ 感染対策を継続中。</p> <p>オ 構築推進事業連携会議（四方田、末永）、地域密着アドバイザー（末永）、構築推進サポーター（末永）進め隊において、地域移行支援手順書を作成予定（作成中）。千葉県としての標準的な手順書（マニュアル）を作成し市内の相談支援事業所や精神科医療機関、行政と共有することで、地域移行支援の普及を図る。手順書の原案は末永が作成した。</p>	<p>ワークショップ鎌取のパン店舗は、公道から敷地内に踏み入ることと、パン店舗と気づきにくい外観をしている。公道に面して、地域住民が気軽に立ち寄れるパン店舗の展開をしたい。パン店舗と工房で精神障害者が働く場とすることで、病院に入院中の精神障害者にとっての退院後の働く姿のモデルにもなり、近隣住民にも魅力的なパン店舗とすることで、おのずと一般市民と精神障害者の交流が生まれる場としたい。</p> <p>コロナ禍で中断している地域住民との交流活動は再開を期したい。</p>

取組項目 (31の具体的な取組みの番号と取組み名)	取組の概要	R3年度取組状況 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	R4年度計画 (いつ、どこで、何を、回数、人数 等)	今後の課題
4 障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供	<p>ア 近隣地域との交流による障害者への理解の促進</p> <p>イ 障害を持つ人達が当たり前前に街にいる風景の促進</p>	<p>ア 新型コロナウイルスの影響により未実施</p> <p>イ あすみが丘ブランニューモールでの買い物（コロナ感染状況が少ない時期に実施） 4月：2回・5名 10月：5回・11名 1月：1回・2名</p>	<p>ア 11月下旬に近隣地域の緑の森工業団地内の企業に働きに来ている人達約30名を対象に普通救命講習会を開催。講習会後に施設見学と福祉講和を行う</p> <p>イ あすみが丘ブランニューモールへ外出し、買い物・お茶等 年間：約30回・68名</p>	<p>ア・イともコロナ感染状況による</p>
6 地域と学校との交流	<p>ア 中学校への福祉教育</p> <p>イ 中学校のキャリア支援事業への参加（緑区外）</p>	<p>ア 新型コロナウイルスの影響により未実施</p>	<p>ア R4年度中（春または秋頃）に実施したい旨土気中学校・越智中学校の担当者とは電話にて確認している</p> <p>イ 地域新聞社との連携事業で11月と12月に千葉市内の中学校のキャリア支援授業に参加し「福祉の仕事」を説明する</p>	<p>ア 日程とコロナ感染状況を考えると、R4年度中の開催は現実的に難しい</p> <p>イ 緑区内の学校からの要請があれば積極的に参加していく</p>
22 地域諸団体、行政機関との連携	<p>ア ふれあい福祉フェスティバルの開催</p> <p>イ 緑区ふるさとまつりでの福祉啓発活動</p>	<p>ア 新型コロナウイルスの影響によりフェスティバル自体は中止したが、これまでのフェスティバルの様子や参加団体の活動内容の写真や作品等を10/11～25の期間あすみが丘プラザのロビーに展示。また土気地域全戸にフェスティバルを忘れられないようチラシを配布した</p> <p>イ 新型コロナウイルスの影響により、ふるさとまつりが中止となったため未実施</p>	<p>ア 10/22(土)に開催予定 土気地域13の福祉団体で実行委員会を構成し、ステージイベントには一般市民の団体も参加する 本来は2日間行うが今年度は1日開催 参加者・来場者で約300～500人を見込んでいる</p> <p>イ 緑区ふるさとまつりにて福祉啓発ブースを設置。パラスポーツ競技「ボッチャ」の体験会をメインに実施し、福祉車両の展示も行う</p>	<p>ア コロナ感染状況により開催可否を判断</p>